大正九年十二月十日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 四月廿四日(火)

發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

諸情勢を洞察し 高橋藏相增稅斷行
增稅のための負擔力培養 自然增收の好轉で

(東京國通)高橋藏相が最近增稅の必要を認めて來た理由は

一、藏相の希望してゐる赤字公債減少の見込みが當分立たず一九三五、六年の國際重大危機を前にして國防費其他歳出の增加を避け得ぬ情勢となつたこと

一、時局匡救事業の進展とインフレの徹底、低金利政策の進行等で租稅其他の自然增收が好轉して居り增稅のための負擔力が培養されて來たこと

一、郵便料値上げ、鐵道益金の一般會計繰入れには所管大臣と藏相間に諒解がつき十年度より實施の筈であるが實行に當つては大藏省でも一部なりとも增稅を計畫し併行せねば兩事務局が承認せぬ模樣で高橋藏相も以上の情勢を察し或る程度の增稅斷行を決意した模樣である

海軍航空部隊 三年計畫で十八隊增設

(東京國通)海軍當局では九年度豫算實施に當り航空隊が英米に比し著しく劣勢なので空部隊八十機のみの劣勢なので十八隊の增設經費四千四百萬圓を三年繼續事業とし九年度には大湊航空隊、館山航空隊佐伯航空隊に六隊宛を分割して增設開始に決せる模樣である

政界の淨化は 青年の協力を必要
民政、政治教育普及に努む

(東京國通)民政黨では政界淨化、政黨の更生は靑年の協力を待つの外なしとし山桝靑年部長が立案中であつたが五月頃より各府縣別に政治講習會を開き本部よりも講師を特派し政治教育の普及に努める旨地方支部宛通牒を發した尙岐阜、京都支部は既に講師派遣を本部に求め來り八月には本部で大講習會を開く豫定である

換算率問題 日ソの意見尙阻隔
結局北鐵交渉解決後に

(東京國通)漁業問題でソ聯側は一方的に現行換算率卅二錢五厘の低下改正を要求し來つたが、日本としては

一、現換算率は圓對ルーブルの法定比價に關係なしに協定されたものであるから、理論上圓價の法定比價に對する騰落により變更されねばならぬ理由はない

一、ソ聯側では値上改定の根據を一九三一年十二月十四日の金輸出再禁止による圓價下落に求めて居るが、其の翌年の八月十三日成立せる廣田外相とカラハン氏との安定協定を卅二錢五厘の換算率を其のまゝ適用するを妥當とし今に至つて圓價下落を云々するは正當でない

一、若し圓及びルーブルの購買力比率を問題とするならば、ルーブルは一九三一年協定當時は一ルーブル十錢內外であつたが、最近は一錢乃至二錢に漸落してゐる等の理由より寧ろ値下を要求せざるを得ぬ事情にあり、このまゝで商議を行ふも、徒らに交渉の紛糾を來す虞れなし

大統領の大赦令署名拒絶で マドリッド不安に襲はる

(マドリッド廿二日發國通)ファッシスト反對の總罷業宣言に端を發するマドリッド再度の騷擾は其の後一層擴大し死者一名、重傷者五名逮捕者百二十名を出した、事態は今尙依然重大でレルー大統領は大赦令の署名を拒絶する虞れあり引いては現內閣の危機を招來するものとして首都は今や再び大きな不安に襲はれてゐる

米女流飛行家 南米中米横斷

(マイアミ廿二日發國通)米國の女流飛行家ローラ、インガルス孃は南米中米横斷一萬六千哩の冒險飛行に成功した、アンドス山を越える時は酸素吸入を行つた程である

鄭特使到着 最後の土地福岡に

(福岡國通)鄭總理一行は午後三時三十分日本最後の正式訪問地たる福岡に到着、小栗知事、久世市長以下官民多數の出迎へを受け雨の中を沿道を埋める學生の萬歲に迎へられ旅宿榮屋に少憩の後公會堂に於ける官民合同の歡迎會に臨んだ、鄭總理は一ケ月に亘る日本滯在最後の夜を福岡に明かし二十四日午前八時福岡出發門司に向ひ市民の歡迎會に出席、午後臨時うすりい丸に乘船、日滿修聘特使の大任を果し、思ひ出深い日本を後に懷しき母國滿洲に向ふことゝなつた

北鐵交渉はまたもや遷延
滿洲國側の回訓未到着で

(東京國通)北鐵交渉で廣田外相より內示を受けた滿洲國の提案に對し滿洲國側代表は新京政府へ請訓中であつたが、廿三日午前中は回訓着かず會議は二三日延期されることゝなつた

飛行機の賣込みに狂奔する列國
航空熱の支那に勢力を扶植

(奉天國通)最近頃に航空熱旺盛となつて來た支那に對し各國は夫々自國航空勢力の進出を計り一方飛行機の賣込み運動に狂奔して居るが最近に於ける列國の動靜を觀るに

一、米國よりは既に航空顧問教官、技師等五十數名を政府及び民間會社に奉職せしめ、更に米國に於ける快速飛行家として知られて居るフランク、フオークス大佐も技師三名を引率して過日上海に到着支那要人と重要會見をなしたる外廣東方面にも飛行機の賣込み運動をなして居る

一、英國は目下英支航空連絡を計畫中であるが本問題は英議會に於ても討論された程で在支航空武官運動も相當効を奏し遠からず實現の運ひに至るものと觀られて居る

一、ドイツは多數の技師、教官を送る外獨支合辦の飛行機製作所の設立協定を結び今後四ヶ年以內には同會社に於てユンカーの發動機を製造すべく着々準備を進めて居る

一、佛國よりは航空武官として目下活動中であり伊國よりも航空武官が來扈し、一方伊支合辦の飛行機製作所の設立計畫を提案中でその他各國の運動が加はり今の所支那を舞臺として巴の如く航空權獲得戰が演ぜられて居る

わが非公式聲明に湧立つ支那紙
在外機關に愼重態度を訓令

(上海廿三日發國通)(日支交渉に關する刺戟的論評の揭載に對し緘口令を敷かれた當地支那紙は我が外務省の對支列國援助の非公式聲明に好題目を見出して沸きたち今尙筆を揃へて日本の野蠻こゝに至つて假面をかなぐりすてその方法を露骨にあらはし來つたとの旨論評を揭げ憤激して居るが一方外交界方面の確報によると外交部はこの程駐外各公使にあて支那は本問題に對し始終嚴正なる態度をもつて獨立主權國としての權利義務を維持し九ヶ國條約並ひに國際聯盟決議に對しては當然各國と共同責任をとり行動を共にすることを各駐在國領事に表明すべしとの訓令を發したとた

南京政府 財政會議開催

(南京廿三日發國通)極度の財政難に惱む國民政府財政部は財源捻出の爲全國財政會議の開催を企圖してゐたが、愈々五月廿日南京に同會議開催に決し、この程財政部長孔祥熙の名を以て全國各省財政廳長に對し召集狀を發した

韓復渠の辭任は中央への義理だて

(天津廿三日發國通)劉桂堂の討伐がはかばかしく行かなかつたかどで一時韓復渠の山東省主席辭任說が傳へられたが右は中央に對する御義理的なものに過ぎなかつた模樣で目下の所辭任の樣子は全くない

孫江省々長 蒲本部隊長訪問

(チチハル國通)黑龍江省長孫基昌氏は廿二日新任の蒲本部隊長を○團司令部に訪問、挨拶を述へ種々懇談するところあつたが當本部隊長は永井總務廳長他各長の挨拶を受けて後孫省長を訪問答禮を爲した

廿四時間でパナマを通過
セ提督が重大指令公表 注目される其結果

(パナマ廿二日發國通)目下太平洋岸より大西洋岸にかけて大々的に大演習を續けてゐる米國戰鬪偵察兩艦隊の聯合艦隊は總數百十三隻の艦艇を擁し、艦隊のパナマ通過には少くも前後二週間を要するだらうと觀られてゐたが、廿二日に至り俄然戰鬪艦隊司令官セラーズ大將は緊急の事態に應ずる試練として僅々廿四時間以內に全艦隊のパナマ運河通過を完了せしめる米國海軍始まつて以來の劃期的の大試驗を行ふことに決定したとの重大な聲明を發表した

佛外相チェッコ訪問で ソ聯の聯盟加入實現性を增す

(東京國通)當地入電によればフランス外相バルツール氏は廿一日パリ發チエッコ訪問の途に上つた、右はソ聯の聯盟加入を斡旋するためで、ソ聯の聯盟加入は實現性を增して來た

畑○團長凱旋 二十七日新京に着

近く內地へ凱旋することになつた畑○團長は來る二十七日新京着、二十八日軍司令官に軍狀を申告並に滿洲國皇帝に拜謁を賜はり、二十九日滯在三十日新京發奉天に向ふ、なほ一、二兩日奉天に滯在、三日奉天發大連着四日から十二日まで大連に滯在し十三日乘船、一路內地へ歸還の豫定である

外務當局もこの問題とせず、北鐵讓渡の解決後に商議に入る方が適切ならんとの意見有力である

北安鎭方面 苦力激增

(北安鎭國通)解氷期に入り苦力群流入は既報の通りであるが各請負業者は愈々積極的に苦力の輸送を開始し目下一日平均約三百名の苦力が各地より送り込まれるその輸送狀況をみるに苦力列車に依るのみにても三月二十四日の百九十名を皮切りに五千名に上り其他貨物列車に便乘して入込むものを合すと一萬人に達せんとしてゐる

奉天省の水利稅 廢止に決定
農民の負擔著しく輕減さる

財政部では稅制の整理に努力し着々其實を擧げて居るが今回愈々奉天省に於る水利稅を廢止するに決定、第八國務院會議に付し參議府會議の諮詢を經て近く勅令を以て公布される事となつた、此水利稅は民國二年以來奉天省東部廿三縣の農民より徵收されてゐたもので水利施設による利益者負擔金の性質を帶びながら、從來租稅として徵されたもので、且最近は水田事業の助長、水溝堀鑿等水利施設に於て何等見る可きもの無く、課稅徵收の合理性を失ひ、徒に農民の負擔を過重ならしめて居たものであるこれが既往の徵收額を見るに、民國十九年二十五萬八千七百八十八圓、同廿二年八萬九千二百十七圓、大同元年十一萬六千百二十一圓平均十五萬四千七百九圓である、而して從來の水利稅未納額は二十三萬圓に達して居るが、水利稅廢止と共に省の水利局も廢止されるので、此未納金は各縣廳に委任してこれを徵收させる事となるが、今後水利稅は完全に廢止を見るので同地方農民は著しく負擔輕減され、舊政權時代の「誅求」から救はれるのである、而して既に奉天省には省令によつて水利組合の施設を見た事であるし、同組合の水利施設と相俟つて農民の勞苦の酬はれるのも近い事となつた

梨本元帥宮 特使とし御來滿か
五月下旬か六月上旬の御豫定 正式通牒を待ち奏請

(東京國通)滿洲國康德皇帝は曩に鄭熙兩特使を派遣せられ我皇室に帝政實施を正式に御報告あらせられ一層兩國の親密なる修交關係を望ませられた、これに對し我政府に於ても過日來內閣、外務、陸海軍に於て即位を御祝するため國使御差遣奏請に就て愼重協議を重ね二十日新京赴任の途に就いた入江滿洲國宮內次官に此の旨傳達したが同次官着任後滿洲國皇室の御都合につき同國宮內府より正式に通牒あるを待つて特使として皇族殿下の御差遣を奏請することになつたが特使殿下としては元帥梨本宮守正王殿下を御差遣遊ばされる御模樣であつて殿下御渡滿の時期は五月下旬か六月上旬の御豫定である

天長節の記念放送 東京放送局極東諸國と交驩

(東京發國通)東京放送局では來る二十九日の天長節を祝して極東諸國の交驩放送を計畫し豫ねて準備中であつたが二十三日フイリツピン、ジヤバ、シヤム、滿洲の四ヶ國から快諾の返事があつた當日は午後零時十分國內アナウンスに次で同一時から二十五分迄フイリツピン(マニラ)、ジヤバ、シヤム(バンコツク)、滿洲(新京)、日本(東京)の順序で各國十五分宛夫々特有の音樂を放送する筈である、從來交驩放送は主に日米の間に行はれたが今回は東洋全體を繫ぐ新趣向に加へて當日の放送は各國の分を一旦日本で受信、國內放送を行ふと同時に短波で參加各國に再放送するもので其の結果は期待されてゐる尙支那放送局はプログラムに餘地なしとし拒絕し來つたが、頗る遺憾とされてゐる

日本中堅國民會が滿洲に櫻寄贈

(東京國通)貴族院議員丸山鶴吉氏は今朝丁士源駐日公使を訪問し日本中堅國民會員と東京驛員七百名の寄附金による櫻の苗木一千本の寄贈を申出で同公使も喜んで受納したが右は近く新京に送り適當の地に移植する豫定であるが數年後には國都に日滿親善の櫻並木が出來る譯である

宇治川電力增資

(東京國通)宇治川電力は一千五百萬圓の增資を發表したが十年期限で四分七厘、發行價格は額面通りである

戰鬪機墜落

(平壤國通)飛行第六聯隊戰鬪機百卅九號機は飛行中に機關部に故障を起し廿三日午前九時半墜落、機體は大破した搭乘者は落下傘で無事なるを得た

圖們電報局新設 廿三日より業務開始

電々會社では圖們に電報局を新設すべく準備中のところ愈廿三日より開設、業務を開始した、因に同局では日文、漢文、歐文の電報を取扱ふ筈である

山崎遞信書記 奉天へ轉任

關東廳遞信局監督課新京駐在遞信書記山崎亮太郎氏は奉天駐在を命ぜられ二十四日暇乞挨拶に來社した因に氏は二十五日午前九時發列車で赴任

嘉納治五郎氏來京

貴族院議員嘉納治五郎、衆議院議員林田操の兩氏は二十八日午前七時來京、同日午前八時三十分發哈市行第四列車で出發歐亞連絡線で嘉納氏はウインへ林田氏はベルリンへ視察に赴く予定

オランダ對日輸入制限令を延期

(東京國通)オランダ政府は日本品輸入に對し制限を加へんとする法令を日蘭會商成立迄延期することゝなつた

人事往來

▲張燕卿氏(實業部大臣)二十三日午後四時三十分發大連へ
▲梶井軍醫監(關東軍々醫部長)同上
▲赤鹿中佐(陸軍士官學校附)同上
▲セミヨノフ氏(白系將軍)二十四日午前七時着大連から

團体

▲滿訪日文化團十八名二十日午前六時來京二十八日前八時三十分發哈市へ
▲石川師範學生六十五名二十八日午前六時來京、富士屋投宿二十九日午前十一時三十分發奉天へ
▲宮崎縣延岡中學生五十五名二十八日午後一時五十五分來京北滿旅館投宿離京日未定
▲旭川驛主催團二十五名三十日午前六時來京同日午前六時三十分發吉林へ
▲奈良師範學生九十五名三十日午後六時五十分來京協和旅館投宿五月一日午後四時三十分發南下

その日く

□梨本元帥宮、滿洲國へ御遣ひはさるゝ日滿兩國のため慶祝これに過ぎず
□棒高の西田修平君、極東大會に朗かに出席出來ぬといふ、體協今更狼狽色なし
□畑○團長、廿七日新京着、卅日いよいよ凱旋の途へ、近ごろ下り坂の歡迎、今度はしつかり
□新京飛行場火災の原因は兵のちよつとした過失から、心の緊張が第一
□國防婦人會寬城子分會生る、非常時のけふ婦人に負ふところ多し

日滿悲曲 生命線を行く (百五十二)

(舞臺上演 映畫上映)

國友雄吉 (荒川芳三郎畫)

第二の狂亂

勝代は、無理酒を飲んで、あれから醉つぶれてしまつた。

それをもて餘して、飛彥も、宜い加減に切り上げた。そして彼が金水を出ると、楠本も、彼からのこのこついて來た。

「君が、勝代を知つてゐやうとは思はなかつたね。まつたく驚いたぜ」

歩きながら、飛彥は言つた。

「わたしも驚いたね。そして最初は、お馴染だとばかり思つてゐたね」

「馴染つて――僕の、かい――?」

「さうですとも」

「冗談じやないぜ。はゝゝゝ」

「でも、まんざらでも、無さゝうですぜ」

「そんな風に、見えるかね」

飛彥は苦笑した。

「あんなことを言つてゐたが、彼奴、まつたく倬一と臭いんでせうか」と、楠本は疑ぐつて居る。

「十中八九は、ね」

「それでは、あの女に接近するのは危險ですぜ」

「なあに、僕だけなら安心だが、只、君と僕との間柄を知られてしまつたのは拙かつたね」

話し〳〵歩いてゐる中に、いつか、瀋町公園の中へ、二人は紛れ込んだ。人影も無い夜更けの公園には、朧かに立ちこめた川靄の中に、電燈の光が淡くぼやけてゐた。

「知れたら知れた時で、どうです、もう一度、狂言を書き直しては――?」

「第二の、狂言かね?」

飛彥は、反問した。

「此まゝでも、どうも寢醒が惡いやね。だから、やつぱり――最初の――計畫通り――」

「エツ! また、倬一を――やるのかね?」

飛彥の、聲は顫へた。

「――でも、滿洲でさへ、失敗した君じやないか――」

「滿洲は滿洲。日本は日本でさあ――」

飛行場火災の原因 ライターから點火
橋本曹長以下近く軍法會議へ 憲兵隊取調の結果

既報、二十三日の新京飛行場出火の原因について新京憲兵隊で調査の結果橋本曹長が煙草をのもうとして川上上等兵に『マッチはないか』と求めたがマッチがなくライターがあつたのでこれを出したところあひにく揮發油がないので事務室横の物置に揮發油を入れに行き入れ終つて試みに點火してみた際この火が忽ち鑵の揮發油に燃え移り遂にこの大事に至つたもので近く橋本曹長以下四名は軍法會議に附される筈である

國防婦人會 寛城子分會生る
滿洲國觀兵式當日發會式

大日本國防婦人會は過般東京において發會式をあげ自來各地に支部分會等續々發起され新京にも昨年同會東京本部から永田美那子女史が來京支部發會に關し種々劃策中のところ同女史の連絡で一足お先に寛城子に分會が設立せられることゝなり左の如き決議主意書を配布來る五月十日滿洲國觀兵式の佳日をトし發會式をあげるべく目下大童の活動を續けてゐる

決議主意

此度新京寛城子の有志諸姉間に於て左の決議を致しました

私達は斯ふして寛城子の一角から將た台所から展望致しますに世は擧げて非常時の叫びに充滿されてゐますこの過度期に當り何よりも國防の充實が最大急務であることは改めて申し上げるまでもありませんが祖國日本に於ては既に全國到るところに國防婦人會が生れまして盛んに銃後の務めに活躍せられてをります

御承知の如く滿洲國は既に名譽ある獨立帝國となりました隨つて滿洲の國防は日本の國防、日本の國防は滿洲の國防であります、故に祖國の前衛に生活してゐる私達が家庭に於ても充分認識し訓練と修養をつみ、皇國の皆樣方と相呼應して及ばず乍ら銃後の務めを果したいと思ひますそこで滿洲には未だ國防婦人會の本部も支部も設置されてをりません、いづれ各都市に在住の御婦人方の蹶起を俟たねばなりませんが、今日滿洲帝國が生れんとした産みの第一聲を揚げた寛城子から康德元年の御大典觀兵式を機として國防婦人會新京寛城子分會を設立し今後、本部支部創立致されました曉にはその傘下に加入會する決議を致しました

茲に顧問及び贊助員同道お願ひに參上致します筈ですが冗費と空時間を節約し常務委員並びに連絡員を以つて實行進涉に當らせます

新京寛城子發起人一同

愛國の各位樣

顧問　朝日山萬二郎氏　熊谷源治氏　池田福治氏　中村信行氏　北郷尹氏

發起人　河内一三郎氏　藤田覺居氏　林田光信氏　永野左右衛門氏　井上靜夫氏　今村粂次氏　大西多吉氏　大西常代　北郷シゲ子　朝日山房子　熊谷千代乃　池田素子　中村孝子　林田千枝　藤田ツル子　永野シヅ　河内ユイ　今村梅子　井上セツ

常務委員　大西常代

連絡員　永田美朋子

防空協會支部 三十日發會式擧行

滿洲防空協會新京支部では來る四月三十日午前十一時より新京高女講堂に於て多數關係者を招待し盛大に支部發會式を擧行することとなつた

三浦質店へ 拳銃强盗

二十四日午前五時三十分ごろ城内西五馬路三浦質店こと三浦鐵次氏方へ拳銃を所持する二名組の滿人强盗が客を裝ひ侵入し突然懷中から拳銃を取出し店員に突付け脅迫し震へる店員を尻目に、店の間にあつた、手提金庫から國幣二十七圓、現大洋十圓、哈大洋十圓、懷中金側時計一個、腕時計一個、金指輪二個を强奪逃走した、届出に接した新京總領事館署並に新京署、首都警察廳では直に非常線を張り犯人搜査に努めた

大倉組出張所員の 親子ガス心中（未遂）
藝妓に迷ふ夫に面當

市内入船町二ノ一九渡邊喜三郎妻キミ（四二）、長男誠三（一三）の二人が二十四日午前九時頃窒息假死狀態にあるのを隣家の者が發見し大騷ぎとなり其筋へ急報、係官が出張、滿鐵醫院に擔ぎ込み應急手當を受けた結果蘇生したが原因は午前五時起き出で朝餐の仕度をすましうつかり瓦斯栓を締めるのを忘れ、瓦斯が屋内に充滿し奥の八疊間で母子が中毒のため倒れたものと云はれてゐるが、仄聞する處によればキミの夫喜三郎が昨年來土木業者で敎化方面に屢々出張の途、吉林の料亭金花の抱妓鈴香にうつゝをぬかし家を顧みないので度々强意見をしたが効き目なきを悲觀のあまり遂に母子心中を企て前夜瓦斯栓を開き就床中自然死に陷るやうにしたものだとか、因に夫喜三郎は目下敎化に出張中の出來事であると

不倫な妻
情夫と駈落ち

陽春の訪れとともに人妻のドロン…永樂町三丁目十三番地尼谷重義氏＝假名＝の妻品子（二六）さんは二十三日午後六時ごろ入浴に行くと稱し主人の目を盜み、トランク、郵便貯金通帳を持出し情夫と共謀し行方をくらましてゐるので直に新京署に保護方を願出た

奉納劍道試合 參加割當

既報、二十七日招魂祭當日午後一時から神社境内で行はれる奉納劍道試合はなるべく日滿官民多數の參加を歡迎してゐるが諸種の關係により約二百名としその大体の割當は左の通りである

▲一般組
軍隊側五〇名、警察五名、滿鐵五名、在鄉軍人會二十名、地方一般有志者十名、滿洲國側二十名、商業學校五名

▲少年選手
商業學校五十名、中學校二十名、その他有志十五名

招魂祭の奉納試合
けふ神社で打合せ

戰歿者の英靈を慰める招魂祭は來る二十七日午前十時から新京神社で盛大に擧行されることになつたが、當日は劍道相撲弓術の各奉納試合も行はれるはず二十四日午後四時から新京神社で各祭典委員ら出席して當日プログラムその他について打合せするところがあつた

退役兵が 運轉手試驗受驗

新京駐屯〇〇〇隊の本年退營する兵中六十二名は二十四日午前八時から新京署で、關東廳臨時自動車運轉手免許試驗を受けた

在留地徵兵檢査 日割

昭和九年度關東軍內在留地徵兵身体檢査は五月十日より六月二十七日まで三十九日間大連日本橋小學校、安東大和小學校、奉天春日小學校、新京商業學校哈爾賓日本居留民會公會堂の五ヶ所で實施せられる事に決定したその壯丁人員は四千九百四名であるなほ新京管轄內壯丁人員は八百七十八人で受檢者在留地署館別及檢査日割は新京警察署六月十五日より十九日まで、新京領事館六月二十日、新京領事館范家屯警察署、敦化領事館、鄭家屯領事館六月二十一日、公主嶺警察署、四平街警察署吉林領事館六月廿二日の七日間に實施せられるものである

零下一度三分、雪、雷
氣違ひ天氣も一兩日
然しもう一度位雪が來そう

滿洲ならでは見られぬ春の雪二十四日午前七時五十分から降り出した雨は九時二十五分ミゾレに變つてとうとう九時五十分頃からチラチラ小雪が降り出し三十分間續いて十時二十分降り止んだ、十一時四十五分には又々雪が降り出した、けさの最低氣溫は午前六時すこし前零下一度三分、例年より五、六度低い、昨年は雪の降り止みが五月五日平年は四月二十三日、今年も後一度ぐらひは雪が降るかも判らぬ、いまゝでのうちでは昭和三年五月十六日に降つたのが最終である、氣壓の配置は昨日は全滿に亘つて低氣壓があつて、新京には三百四十八ミリの低氣壓があつたが、漸時日本海の中心に出た高氣壓は小笠原に七百六十二ミリ、北支那方面に七百六十ミリ、昨晚は奉天、金州、芝罘邊りでは雷鳴があつたが滿洲における雷鳴はこれが始めてゞあるなほ新京の氣溫も一兩日中には復活してだんだん暖かになるであらう

街の日記

安達曹長ら 時局後援會からお見舞ひ

新發屯南方上空で試驗飛行中機關部故障のため墜落、重傷を負ひ新京衞戍病院に入院中の安達曹長および細田上等兵に對し新京時局後援會では市民を代表して紅白葡萄酒一對を見舞としてそれぞれ贈ることになつた

つけ馬をまく

入船町住吉鐵工所元職工梶原富藏（三七）は二十一日午後十時ごろ三笠町二丁目二ノ八料亭三浦屋に登樓し三十一圓四十錢を遊興し、二十二日午後零時三十分自宅で支拂ふと稱し同家使用人國家福太郎氏と共に同家を出て中央通十六番地先に行くと國家氏の足の不自由を見てとるや友人から金を借つてくるから一足先に行くと稱し行方をくらました

童話放送 山岸武夫氏

新京富士町二丁目十の二山岸武夫氏は來る五月一日午後五時から三十分間「君が代の力」と題する童話の放送をなす由

美松屋開業 進物專門店

日本橋通り新京百貨店の向合ひに出來たみやげ專門の店「美松屋」店舖は手狹だが內容充實した買ひよい店で琥珀細工より石炭細工、滿洲獨得の高粱細工、繪葉書に至るまで贈答進物一式揃ふて四平街の本店より此程新京に進出せしもので場所は出入多き百貨店前よきみやげ店として紹介して置く

拾ひもの

▲東一條通五十八番地田中正一氏は二十三日午後五時ごろ室町小學校前で現金十圓を拾つた

落しもの

▲羽衣町一丁目三村トメさん方白崎德種氏は二十三日午後四時ごろ東三馬路天通金店から東三馬路合康號に行く間現金百三十四圓を封筒に入れたまゝ落した

▲東二條通二十一番地朝日舍村壽明氏は二十三日午後九時四十分ごろ驛前で商賈通帳一冊を落した

盜難屆

▲日之出町四丁目二番地木村晉作氏所有コンサージ上衣一着　チョッキ一着、黑小倉ヅボン一着、コットン地シャツ一着、現金五圓を二十三日午前五時ごろ自宅仕事場で竊取された

▲羽衣町二丁目二十六號補田信氏方へ二十三日午後三時から同四時の間家人不在中表玄關の施錠を破り何者か侵入し柳行李から大島の男羽織一着外衣類十二點時價百五十圓を竊取された

天長節一般拜賀式 駐滿大使館で

來る二十九日天長節の一般民拜賀式は蓬萊町駐滿大使館內に於いて午前十時より十一時までに行はせられる事に決定した

國立公園の 名稱改稱

（東京國通）國立公園中日本アルプス、吉野、熊野等の名稱が不適當との事で國立公園協會では全國からその名稱を懸賞募集中であつたが審査の結果、長野、新潟、富山、岐阜四縣に抱かる日本アルプスの全地域を中部山嶽國立公園と、奈良、三重、和歌山三縣に亘り大峯山、大臺ケ原、熊野川、熊野海岸を包含するものを吉野熊野國立公園と呼ぶ事に決定した

匪賊拉賓線で 木橋を燒く

（ハルビン國通）二十三日午前一時頃拉賓線老頭溝の銅佛寺の木橋が匪賊の爲に燒却されて居た爲〇〇を出發して〇〇に向ふ若山部隊の第三次到着部隊の搭乘せる軍用列車は之が爲老頭溝に約二時間待機し木橋の修理を終へて目的の地に向け出發した

酒井米子一行 明朝新京入り
銀幕の彼女が同夜長春座で ファンの前に實演

ファン待望の裡にある映畫俳優實演隊酒井米子一行六十余名の大一座はいよいよ月二十五日午前七時着の列車で着京する、これより先太夫元は市中各方面に挨拶に廻つたから花柳界カフェーなどからの出迎へで驛頭は賑ふことであらう一行はそれぞれ割當てられた旅館に落ちつき大幹部連は挨拶廻り他は少憩のうへ開演準備にとりかゝり豫定の時刻に開場の手筈となつてゐる、初日藝題は川付花菱作開國哀話唐人お吉、江島弘作嫁と姑行友李風作修羅八荒の江戸節お駒等でキビキビとした藝風を見せる特等三圓、一等二圓五十錢、二等一圓三十錢で前賣券は割引つきの入場料である

注目の的（七）
—大新京の景氣打診—

生れたばかりの 新京三業組合
將來 東京での新橋は請合
三業組合長　吉村元七郎

三業組合は昭和八年十一月十二日より營業を開始したもので淺い体驗しか持つてゐないその區域は梅ケ枝町、永樂町である、現在この組合に加入營業をしている者が五軒、藝妓の數七十人である、創立當時より藝妓數において六十人の增加を見ている、この僅かな軒數ではあるが一月の賣上げ高は五萬圓乃至六萬圓で、一軒については最高一萬四千圓から最底七、八千圓といふ成績をおさめているものであつて、內線香（花代）の賣上げは約二萬圓である、現在の營業成績からすれば藝妓の數も不足で、今年中において百二、三十人までは增加して行く考へでいる、また料亭も二軒增加は決定的のもので、當組合はます〳〵發展の傾向にある、前記の賣上げ高の如きは結氷期間中のもつとも暇の期間の成績であつて、四月以降は少くもその賣上げ月約七萬圓即ち二割以上の增額あるものと豫想している、劵番の成績の如きも一月の收入千圓を下らぬの現狀であつて、私の理想とするところはこの劵番を將來株式組織となし近く是非とも實現せしめたいと思つている

▽……△

この劵番制度は附屬地における內藝妓制度の如きよりすべての點にすぐれているものであると確信しているが、それを比較して見る時內藝妓制度は第一風紀取締り等の上に缺陷があり、ひいては藝妓の素質の低下の素因をつくるものである、反面劵番制度はなほそれを株式にまで到達せしめた場合には置屋業者が藝妓をかゝえる際金を借り出す事か出來て安心の上完全な藝妓をかゝえる事が出來るわけである、さらに藝妓の技藝の進步を促すことが出來てまた品格の向上を計り道德的にも立派な眞に藝妓らしい藝妓を傭入れることが出來るのである、內藝妓制度は時代錯誤の一つであり是非改むべきものだと思つている

奉天の怪殺人事件 犯人忽ち逮捕
情婦と共に高飛びの直前

（奉天國通）廿三日朝大和ホテルの一室に於て行はれた戰慄すべき殺人事件の指名犯人自稱陳石珍の行方について其の後奉天署司法係では刑事總掛りで血眼になつて搜索中であつたが、午後零時半頃犯人の乘つて逃亡した自動車二二一號が車庫に歸つたので待ち伏せて居た刑事は直ちに同自動車の運轉手城谷東吾君と共に犯人の下車した奉天驛に急行し搜索した結果、驛構內食堂に於て犯人の情婦三浦壽子（二六）と差向ひで食事中なるを發見、難無く逮捕するに至つた、運轉手城谷君の機敏と刑事の迅速なる行動により兇行を演じてから僅かに二時間餘りで斯の如き重大犯人を逮捕するに至つた事は實に超スピード的大捕物といはねばならぬ

犯人は元 奉山鐵路局員

（奉天國通）殺人犯人自稱陳石珍及び同人情婦三浦壽子は直ちに奉天署に連行嚴重取調べの結果陳石珍とは同人の父の名前で本名は陳相（二五）（現在無職）と言ひ以前ハルビン市政局及び奉山鐵路局に勤務してゐたことがあり相當裕福な生活をして居り巧みな日本語を操りブロードウエーダンサー菊地こと三浦壽子と內緣關係を結び三經路凱寧ホテル、ヤマトホテル其他一流旅館で同棲生活を續けて來たもので犯行後直ちに自動車で三經路凱寧ホテルに赴き宿料として六百三十圓を拂ひ同ホテルに投宿中の情婦壽子を伴ひ其の車で奉天驛に赴き荷物を預け構內食堂で食事中を逮捕されたもので荷物の荷札には上海行と書いてあり、女を伴ひ上海にドロンを決めやうとしたらしい、尙情婦壽子は犯行には全然關係してゐない模樣である

戸山學校生の
極東大會參加反對を否定
小野原体操課長語る

（東京國通）陸軍戸山學校體操課長小野原中佐は日本體協の極東大會單獨參加に戸山學校が反對との報を否定して左の如く語る

日本體協はマニラに於ける定期總會に最後の手段が殘されてゐるとして參加したので妥當だと思ふ、選手の出發を前にしての反對運動等軍人としてとんでもないことだよ

西田修平選手
極東大會出場を辭退

（東京國通）來る二十九日にはマニラに出發の筈であつた早大の陸上競技選手西田修平君は二十三日夜東京より甲子園合宿の沖田コーチに宛てゝ選手辭退の打電をし即夜郷里新宮町に歸つたが、原因は日滿問題その他にスポーツマンの立場から決意したものと觀られて居る

總監督瀧谷氏は語る

私は未だ正式に西田君の選手辭退を聞かないが多分個人の意思によるもので他の選手の出場には何等變りないと思ふこれから私も下阪して西田君の翻意に努める積りである

陸聯大狼狽

（東京國通）突如一身上の都合を理由として陸上聯盟へ選手辭退の旨申出た西田選手は廿三日午後八時廿五分東京發列車で西下したが聯盟側では極度に狼狽し對策を講じて居るが右につき陸上選手遠征軍の

西田選手の 氣持ち

（東京國通）極東大會派遣選手を辭退した西田修平選手は西下に先立つて二十二日夜早稻田大學體育會長山本忠興博士宛に左の電報を寄せた

いろいろ考へた結果明朗な氣持にて大會に參加出來ぬ故不參加と決心し今夜選手辭退を沖田氏宛打電した、先生の御賢察を乞ふ詳細は多田氏よりお傳へす、西田

けふの銀相場

鈔票對金票　[illegible]
現大洋對金票　[illegible]
國幣對金票　[illegible]
現大洋對鈔票　[illegible]

松澤理事 廿三日神戸出帆 マニラに向ふ

（神戸國通）五月マニラに開かれる極東オリンピック大會に出場の日本スポーツ軍先發として同地に向ふ日本體協理事松澤一鶴氏は二十三日正午神戸出帆のエンプレス、オブカナダ號で上海經由マニラに向つた

料亭南海では先頃主人公吉本さんが亡くなつて以來、何か善いことをして故人の追善にしやうと考へた末、手はじめに皇軍慰問を志し、この頃每日まいにち、各方面の部隊を訪れて歌舞音曲慰問團として活躍してゐる、二十日には新京衛戍病院の慰問に大中小妓が元祿振袖で大擧押出した、花見踊りで入院將士をよろこばしたことだらう、こないだ南嶺あたりの部隊からはトラックに積んで迎へ送りをしてくれた模樣斯うなると慰問された方でも默つてゐないおなじことならあの妓の居る家で呑めとカーキー界に人氣のいゝこと

新京區公示第四號

定期種痘施行ニ關シ左記ノ通新京警察署長ヨリ告示アリタルニ付テハ該當者ハ種痘及檢痘ヲ受ケラルヘシ

昭和九年四月二十三日

南滿洲鐵道株式會社新京地方事務所長　荒木章

新京警察署告示第三號

來ル五月二日ヨリ左記ノ通リ定期種痘ヲ施行ス保護者及義務者ハ指定日時場所ニ於テ種痘及檢痘ヲ受ケシムヘシ但シ痘瘡ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

昭和九年四月十七日

新京警察署長　高山勝司

第一期種痘ヲ受クベキ者
一、數ヘ年一歲及二歲ノ者但シ既ニ種痘ヲ受ケ善感シタル者ヲ除ク
二、前號ノ年齡ニ種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者
三、數ヘ年九歲以下ニシテ未ダ種痘ヲ受ケサル者

第二期種痘ヲ受クヘキ者
一、數ヘ年十歲ノ者但シ數ヘ年八歲又ハ九歲ノ時種痘シ善感シタル者ヲ除ク
二、數ヘ年十一歲ニシテ前號ノ年齡ニ種痘シタルモ不善感ナリシ者
三、數ヘ年二十歲以下ニシテ末ダ種痘ヲ受ケサル者前各項ニ該當セサル者ニシテ末ダ種痘セズ又ハ種痘善感後五ケ年以上經過シ若ハ前年種痘シタルモ不善感ナリシ者ハ成ルベク種痘スルヲ可トス

定期種痘及檢痘日割

月日	種痘時刻	場所
五月二日	自午前九時至午後三時	消防隊
五月三日	同	同

月日	檢痘時刻	場所
五月八日	自午前九時至午後	消防隊

譯文

新京警察署佈告第三號

出示曉諭事照得玆自五月二日起按照左開一律施行定期種痘以期無虞爲此示仰爾各界人等一體知悉凡保護者並義務者均須赴所定之場日時刻受種痘及檢診勿違特示但有已生過痘瘡者不在此限右諭通知

昭和九年四月十七日

新京警察署長　高山勝司

計開

應受第一期種痘者
一、自生早起算到一歲及二歲者 但已受種痘善感者不在此限
二、於相當前條年齡已受種不善感者
三、自生年起算到九歲以下而未受種痘者

應受第二期種痘者
一、自生年起算到十歲者 但自生年起算到八歲或九歲時受種痘已善感者不在此限
二、自生年起算到十一歲者於相當前條年齡已受種痘不善感者
三、自生年起算到二十歲以下者而未受種痘者

右列各條指定年齡內未受種痘者宜於所定地跡及時間聽候施種及已受種痘善感者經過五年以上或前年已種痘未種痘者亦務必前往種痘爲要

（日期因與日文相同略之）

冬から春へ…… 氣候轉換期に どんな注意が必要か (八)

冬から春へ—煤煙から塵埃への非衞生的な氣候轉換期に當る昨今衞生上特に注意をせねばならぬ時期であるが、その豫防方法並にことに注意を必要とする事柄についての衞生上の問題に各專門醫は語る

春と皮膚病 (四)
滿洲に特に多い寄生性疾患

滿鐵新京醫院皮膚科醫長 吉村寧儀

現今の療法としては第一塗藥療法、第二光線療法その外第三ワクチン療法も考慮されて來た

×

塗藥療法は皮膚病の性狀で一樣でない、汁の出る樣な劇い者では普通の皮膚病の場合と同樣に濕布したり、亞鉛華オレーフ油を塗布したりして炎症の落ち着くのを待つ、又虫水脂の股の『タダレ』等では極く弱いリゾール水に浸けたりするこのリゾール水は巷間では濃くして反つて皮膚病を惡くしてをる、その外カサブタを付ける者では豫め適當な膏藥でこれを取り除く

×

斯くして初めて殺菌の目的で種々の藥が試みられる、この藥は賣藥だけでも數え切れぬ程ある、よく氣を付けねばならん事はこれ等の藥はその性質として各れも遲かれ早かれ皮膚を荒し惡くする、即ち藥負けを起す心配があるのである

×

これを例で話すと藥を使用した當時は眼に見え皮膚病がよくなり痒みも止つて來る、然しこれに悅んで適用すると何時か又痒みが出てくる、この時多くの人は藥の使用を怠つた爲めと思ひ猶一層澤山塗り着ける、從つて皮膚は更に荒され痒みも甚しくなる、更に塗る、尙惡くなる然もこれを藥負けの結果と思ふ人は尠ない、又事實この頃は藥の反動でカビの菌は非常な勢で增殖して居る

×

全くこれでは何んにもならない然し賣藥には何回使用せよとか、右は如何しろと云ふ事は何も書いてない、患者は常にかなり手遲れして醫者を尋ねる

×

自分は機會每に多くの寄生性皮膚病は決して一つの所謂特效藥で癒るものではないと云つて居るが吾々の使用藥でも希望さるる儘與えて置くといつも惡くしてくるそこで一定期間殺菌藥を用ひたならば次は皮膚を調へる藥を用ゐる必要が入るのであるこの藥を適時に使用すると輕度の皮膚病では外形は全く癒つた樣になすことが出來る、然しこれでは眞に癒つたのではなく治療を休むと再發してくる

×

故に治療は一番に殺菌他方皮膚を調へる事を主眼として症狀に依つて治療法もこれを繰り返す必要がいる、かくする中に菌は發育を拒まれ長期の間には漸次死滅する、勿論その節皮膚病を惡くする外の諸動機は努めて避けねばならん

×

次は光線療法であるが、これが寄生性疾患の治療に用ひられたのはそう舊くない、これに『レントゲン』と太陽燈などがある『レントゲン』をこの種の皮膚病にかけると菌は死滅し或は發育が惡くなり症狀は良くなる、殊に痒みはよく止まる然しこれで菌のみ死んでくれゝば良いが同時に皮膚も害はれるから『レントゲン』治療は自から制限される從つて是のみで完全に癒る事も欲まれない、是れは、塗藥療治と相俟つて盛んに用ひられる

×

太陽燈も極く輕微な皮膚病に好んで試みられる然しその結果は『レントゲン』程よくない、只し幾度も續けられる利がある

×

最後にワクチン療法は、前記の樣に治療がはかどらない爲め一部の人に依つて研究をされた者であるが今日未だ實用期に這入つて居ない(終)

酒井米子の一行 映畫スター連
廿五日朝來京、同夜開演

酒井米子を中心とする映畫スター實演隊は大連で破れるやうな大入滿員をつゞけ一先づ打揚げ旅順を一日、奉天は二十二日から開演しこゝもまたすばらしい歡迎を受けて居り、二十四日で打上げ二十五日朝新京に乘込み旅館に落ちつき午前中、挨拶廻りと新興首都を見物し、同日午後五時から初日を長春座で開演する、初日藝題は嫁と姑、唐人お吉、江戸節お駒と決定してゐるが、伊豆下田では目下開港八十年祭が盛大に行はれ、お吉祭りまで催されてゐる際、このお吉の劇が上場されるのも奇緣であらうお吉に扮する酒井米子は沿線到るところ大好評を博してゐるさうで又最後の修羅八荒の江戸節お駒、これなどは先にスクリーンでお馴染のもの惡からう筈はない、兎に角女優は酒井米子を筆頭に數名、男優は光岡、久米葛木等々の男女スターが今度のやうに大擧して實演に出て來るなどは稀らしいことで、映畫ファンは勿論好劇家は首をながくして待ち詫ひてゐるくらひであるから愈よ開演の曉はすばらしい、景氣を見せることであらう

文藝

あきらめ
錦波生

坊やよ諦らめやう
二人の短い足では
あの大きなセパードには追付けない
坊やよ諦めやう
犬はどんどん逃げて行く
面白さうに戯れながら
坊やよ諦めやう
あの犬は俺等を馬鹿にしてるんだ
あれ御覽こちらを向いて
赤い舌をぺろぺろ出してるよ
坊やよ歸らうよ
あの犬は俺等を嫌つてるんだ
俺等が恐しいんだこの木刀が
それに二人の足は短いんだ

去年の思出

親戀ふる森の小鳥か
侘ひしく歩む野の小路
歩み緩みて返り見る
荒れ狂ふ風夕暮れに
去年の
故鄕の丘の上を
朧の空に描くなり
君が彈くなる幌馬車を
樂しく窓によりそひて
唄ひ戯れ夜更けまで
破れいたましの此の胸に
去年の
淚のあの夜を
朧らに描くなり

海の外から

プロテスタントからカトリックへ六千名

デンマルクでは最近プロテスタントからカトリックへ宗旨替へする者が毎日五、六十名に上り此の處本家本元では宗徒爭奪戰を演じてゐるが僅々一週間に六千名に上りカトリック司教、ペレメス氏は大ホクホクものである

チエ伯號型 氷上ヨットが出現

既報、獨乙ではチエ伯號の二倍大飛行船が出來上ると謂ふので世界の耳目を聳動せしめてゐるが、スウキスの山岳地方では春が來ても氷は依然、歐洲のブル、スポーツ客を呼ひ、此の程チエ伯號型の氷上ヨットまでが出現、此の方はヤンヤと持て囃されてゐる

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
活鯛	八〇	氷鯛	五八
チヌ鯛	三〇	連子	三一
甘鯛	二六	小鯛	六四
ニベ	二一	ヒラス	二九
サハラ	三六	ス、キ	二〇
サバ	二五	星カレ	二六
ヒラメ	二一	ボラ	二〇
コノシロ	二〇	キス	二〇
ボラ	二一	赤貝	一一
ムツ	三四	オコゼ	一五
メバル	一八	金頭	一二
カニミ	四〇	イヒタコ	一三
タコ	一七	イセエビ	一五
甲イカ	二五	カニ	二六
車エビ	二三	シラオ	一三
アナゴ	二六	カキ	二〇
アワビ	八五	カマボコ	四〇
ノマグリ	七	マス	二五
タニシ	三二	タナゴ	二二
數ノ子	二六		
メジ	三四		

ラヂオ欄

二十五日(水曜日) 新京

午前一一時 五分 講演(全滿並日本全國中繼) 國務院總務廳長兼法制局長 遠藤柳作 滿洲國帝國の政府組織法に就て
同 一一時〇分 ニュース(日滿兩語)
同 一一時五九分 時報
午後〇時 五分 經濟市況(奉天ヨリ日滿兩語)
同 一時 〇分 演藝(滿語) 天順班 翠紅
同 三時二〇分 ニュース(日滿兩語)
同 三時三〇分 經濟市況(奉天ヨリ日滿兩語)
同 四時二〇分 ニュース(滿語)
同 四時 〇分 ニュース(鮮語)
同 四時五〇分 ニュース(英語)
同 五時 〇分 子供の時間 奉天ヨリ
同 五時三〇分 時事解說(滿語)
同 五時五五分 氣象豫報プログラム豫告
同 六時 〇分 ニュース(東京より)
同 六時二〇分 語學講座(滿語) 講師 高宮盛逸
同 六時四〇分 語學講座(日語) 講師 植松金枝
同 七時 〇分 靖國神社臨時大祭(東京より) 滿洲事變戰歿將士招魂祭實況 ═九段靖國神社招魂齋庭より中繼═
同 八時三〇分 時報ニュース(東京より)
同 八時四五分 ニュース氣象豫報プログラム豫告
同 九時 〇分 演藝(滿語) 引續ニュース(滿語)

追信 四月二十四日午後五時三十分時事解說を講演に變更す 訪日所感 財政部大臣 熙洽
追信 四月二十五日午前一一時〇五分講演、(講演者變更) 國務院總務廳長兼法制局長 遠藤柳作氏を法制局參事官 飯澤重一氏に變更す

最近の酒井米子

新京日日新聞　朝刊　四月廿五日（水）
大正九年十月二十四日第三種郵便物認可
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 谷啓二郎

内蒙三千里 秘境を探ぐる（三）

牧歌は消され桃源の夢は破る 蒙民に更生の黎明

通遼の街を出ると間もなく水涸れた西遼河の河底を渡つて興安西分省に入る道路の西側の砂地は處々耕やされ、通遼開魯間の一本道が定期バスの開通のせいか余り凹凸もなく坦々と續いてゐる、道の右になり左になりして地平から地平に連なる線香のやうな細い電柱には一本の鐵線がかゝつてゐるばかりであるが之が通遼を離れてから西への唯一の文化線である

五六戸の土家屋があると必ず銃を背にした騎馬の自衛團や近頃開校した許りの小學校の生徒が小旗を手にして寒風吹き荒ぶ路傍に整列して一行を迎へ、自衛團は馬をとばして暫くは一行の自動車を見送りノートや鉛筆をもらつた生徒達は手を擧げて何時までも何時までも路傍に立ちつくしてゐた、この道路は現在でも尙時々匪賊が出沒し開魯、通遼間の中央に當る村落道德營子の北方の粗林地帶は興林省內では珍しい匪賊の巢であると云はれ一行が通つた前日にも附近に約七十名の匪團が現はれたので追擊中であつたが、旅人の被害は最近極めて少い由である、道德營子南方六滿里の喇嘛寺モリン廟は日本にも可なり知られた廟であるが一行は車窓から遙かに廟の屋根を眺めて開魯に急いだ

縣城に近づくと先づ開魯の牛切塔が沙塵の中に霞んで現はれつゞいて十二方里正方形に開魯市街を圍む高さ二十一丈の城壁が見える、昨年七月には皇軍に追はれた四千五百の大匪團がこの地方に殺到し城壁を包んであわや城內を焦土と化しやうとしたが現開魯縣參事官の寺田氏等が匪首と決死の折衝を行つて危く事なきを得た思ひ出の城壁である、一行は東門外で官民多數の出迎へを受けて城內に入つた、

開魯の大勢と南興安省の礦物

開魯縣はもと東西札魯特旗と阿魯科爾沁旗に屬する沙草の地であつたが清朝の末期から盛んに漢人が移住し來り、土地を收奪開拓して縣城を築いたところで縣內の人口は約七萬、このうち縣城內の居住者一萬七千人は殆んど漢人である

氣候は昭和四五兩年の滿鐵の調査に依ると平均溫度は最低一月の零下一四、三（新京一七、四）最高七月の二五、四（新京二三、三）降水量一ヶ年一八七ミリで鄭家屯の四六五ミリ、新京の六五八ミリ東京の一、五七三ミリ强に比して如何に此の地方の乾燥が激しいかが判る

興安西分省公署は城內におかれ　縣內の教育行政の諸施設の充實してゐることは興安省隨一と稱せられてゐるが縣財政は大同二年度に約四萬圓の赤字を示してゐる位で縣民一般の生活狀態は南分省各旗のそれと變らぬ狀態である

縣內の產業は牧畜と農業が主であつて耕地面積一九六、〇〇〇天地で高粱包米黃豆等の一ヶ年の移出高約四〇〇、〇〇〇石に達してゐる、牧畜は近年兵匪のために家畜の大部分を掠奪されたので實數が判明せぬが牛八、〇〇〇頭馬五〇〇頭、羊二、〇〇〇頭山羊三、〇〇〇頭內外と見られる又城內居住商人の手を通じて移出せられる毛皮類の數量及び最近の價格は

品目	數量	價格
牛皮	一〇、〇〇〇張	一張二元
羊皮	一二、〇〇〇張	同　一元五角
羊毛	五〇〇、〇〇〇斤	一斤一角六分
山羊毛	四〇〇、〇〇〇斤	同　八分
豚毛	二五、〇〇〇斤	一斤六分

であるが、牛、馬　羊等の相場は

品目	相場
牛　一頭	二五元
馬　同	二〇元
羊　同	二元
山羊同	一元

で移出先きは全部通遼である（西藤生）

新京に於る三月中 金融經濟狀況（一）

朝鮮銀行新京支店調査

月初一日には滿洲國皇帝の即位式あり、以後數日間は引續き御大典の奉祝にて市中は大に賑ひたり。然れども特產は依然として不振を續け特產物相場亦不味にして下旬に入るや遂に大豆一石銀六圓台上に高粱一石銀二圓台に下落し早くも滿洲特產物の前途に一部悲觀說さへ唱へらるるに至れり。一方綿絲布麥粉等の輸入品も特產界の不振による奧地農民の購買力減少に商況閑散不味商狀を續けたり、尙土木建築界に於ては愈よ解氷期も迫り居ることとてセメント鐵材石材類等は早くも活況を呈し相當の入荷取引を見たるも木材等は月初貨車の配給圓滑を缺きたる爲め運搬不如意にして建築期を目前にして憂慮され居りしも月末に至るや漸次貨車廻りも順調となれり

市中の諸商況以上の如くなりし爲金融市況亦概して緩漫平穩に經過し至極凡調裡に越月せり

各市況に就て見れば

一、特產物市況

前年度春耕資金の回收本年度貸付金等の關係に農民の手放す者意外に多く爲に出廻りは割合旺盛にして長春縣萬寶山双城堡等を筆頭として一日平均三〇〇車乃至四〇〇車見當に及ひたり　然れども折柄獨逸ナチス政府對ブルガリヤ政府の大豆販賣協定等の入報あり歐州輸出の不振に消化難となり輸送は著しく減少したり

新京特產物出廻數量（單位キロ）

縣名	大豆	高粱	苞米	小麦	其他	計
長春	四、三〇〇	三、三一〇	二、[illegible]	一、[illegible]	六、一八〇	一七、三五〇
德惠	五三〇	二、[illegible]	[illegible]	[illegible]	一、一〇〇	三、九二〇
農安	—	七八〇	二、六三〇	二、一〇〇	二、一〇〇	[illegible]
雙陽	二、六六〇	五一〇	—	—	—	[illegible]
永吉	三三〇	七三〇	八八〇	一一〇	—	[illegible]
伊通	二、一一〇	—	二、八四〇	—	六六〇	[illegible]
樺甸	[illegible]	一〇〇	—	—	—	[illegible]
五常	一一〇	—	—	—	—	[illegible]
計	一〇、[illegible]	七、三〇〇	一〇、二三〇	一、四一〇	一〇、一三〇	[illegible]

新京驛發送特產物數量（單位キロ）◎增加△減少

品名	三月	二月	前年三月	對前年比較
混保大豆	一、七七〇	三、九〇〇	五、六六〇	△三、五一〇
普通大豆	一、四七〇	九九〇	三、一五〇	△一、六八〇
高粱	五、一六〇	八、一六〇	三、一五〇	◎二、〇一〇
苞米	二、〇四〇	一、九八〇		◎二、〇四〇
粟	二七〇	三三〇	四八〇	△二一〇
小豆	一、五三〇	二、一三〇	二、一三〇	△六〇〇
吉豆	二、三四〇	一、二四〇	一、一七〇	◎一、一七〇
蘇子	一一九	一九四	三八七	△二六八
小麻子	七三三	一、三四一	一、六九五	△四三三
豆粕	三、九五二	三、〇〇九	三、三五六	◎三九六
計	一九、五四四	二三、〇六四	二〇、五六八	△一、〇二四

各品に就て見れば

大豆

出廻り前述の如く春耕資金關係による農民の手放しに當地への出廻は增加せるも輸送は輸出筋の消化難に不振、京圖線、北滿線、連絡兩行數量は浦鹽向き衰微の爲め相當增加せり

相場現物月初七圓六五錢と小弱く現はれ大連に於ける邦商大手筋の買物に七圓九〇錢と上伸せしも銀市の好調と南支油房筋の賣物に下廻り七圓三〇錢に低落下旬初めには七圓四二錢所に小反撥せしも大連埠頭の在荷漸增と輸出向依然不振に賣物多く遂日安値を追ひ月末には六圓八五錢と一月以來の新安値に崩落したり

出來高　二九三車（內三月限先物一四車）鈔票三一二五四一圓五〇錢

高梁

出廻り前月に比し幾分減少せるも前年同月に比すれば可成の增加なり京圖線亦同相場月初三圓四〇錢と軟勢に現はれ買物薄に終始チリ安商狀に推移し月末は大豆相場と同じく二圓七九錢と稀有の安値にて越月せり

出來高　二二一車（內先物六車）鈔票九六、六〇五圓也

尙前年及本年三月中に於ける大豆及高梁相場を比較すれば左の如し

旬別		大豆 八年三月	大豆 七年三月	高梁 八年三月	高梁 七年三月
上旬	最高	七、九〇	三、一四	三、四二	五、九四
	最低	七、六五	三、〇四	三、三〇	五、四四
中旬	最高	七、六五	三、二三	三、二六	五、四九
	最低	七、四三	三、一三	三、一四	五、三二
下旬	最高	七、四三	三、一二	三、一三	五、〇九
	最低	六、八五	三、一八	二、七九	四、六六
平均		七、四八	三、一六	三、一八	五、二五

苞米

出廻り大連向稍々增加し相場は最高石鈔票四圓一〇錢最低三圓八〇錢平均三圓九五錢

出來高　七車　三、八七八圓也

粟

出廻り依然不振朝鮮向け少量ありたるのみ相場は月末石鈔票建にて五圓二〇錢

小豆

出廻り漸次減少氣味にして相場鈔票建にて石最高九圓最低八圓平均四圓四六錢

出來高　四六車　四七、八九六圓二〇錢

大飛躍する我人絹の全貌

世界一を目指し急速に發展 其將來は刮目さる

人絹工業ほど我國の產業の中で發展の急速度なものはないと謂はれてゐる、大正二年に米澤で創めたのがその濫觴だから、漸く二十年になつた位のものだが今ではその產出高は世界の第二位になつてゐる

人絹とは一體何か、と言ふに名稱こそ

＝人絹＝と言ふが決して絹そのものではない、簡單に云へば絹の模造品で、米國ではイミデーション、シルクとさへ呼ばれてゐる、然しシルクといふのは蠶の口から吐き出されたもので動物性のものでなくてはならないのに如何に巧妙に模造されてゐてもシルクそのものではないから現在では佛蘭西語のレイヨン（光澤の意味）で一般に呼ばれることになつてゐる、材料は製紙に用ゐる木材パルプと綿糸の混合されたものが主でから云ふものの纖維素は一体にコロイド化する性質を持つてゐるから特殊の

＝操作＝によつて、紡ぎ且つ光澤を出したものである、はじめのうちは先進各國が、その製法を秘密にしてゐたものだから日本では發達が遲れたが獨力研究の結果、遂に今日の成功を收め、今後は世界の第一位を爭ふやうになるかも知れぬと謂れてゐる、我國には元來生絲といふ特產物があり、これと兩立させる爲めには暫く人絹の操業は短縮せられ高率の產務輸出位をやつてゐたものだが昭和六年の末、金輸出禁止を轉機として人絹工業は俄然好轉して來た、そしてその年の生產高は世界第六位だつたものが今では前記のやうに先進國の英、伊、獨等を凌駕したのである、然らば、其需要國はどこかと尋ねて見るに東洋に在りては印度、支那、南洋方面で、埃及から南阿、歐洲等にまで及んでゐる、その後我が輸出額の三〇%を占めゐた英領印度が、例の輸入禁止的の高率關稅を課したので、昨年十月迄の同地方への輸出額は前年同期に比し

＝三割＝も減つたが、それでも他方に於て滿洲國、關東州、濠洲、中南米、阿弗利加、歐洲等の新市場でそれをとり返したから輸出總額では前年よりに殖えてゐる、レイヨンには絹との交織綿又は毛との交織もあつて研究も進むし、需要も增加する、即ち人絹工業の將來は刮目に價するものがある

革新過程の文明諸國 政局の動向（下）

帝大總長法學博士　小野塚喜平次

之を要するに現代諸大國の國家革新經濟恢復の目的を達するの手段において二個の異る潮流が明白に認められるのである、夫は立憲主義と專制主義と言ふことが出來る、即ち前者は英米佛の如き衆民政の傳統强く政治思想の普及したる國々に於て見られる所であつて國內に互に相容れざる左右兩極の勢力は國政を左右するには余りに微弱にして、それらを除外せる比較的中庸なる諸勢力が常に相爭ふも結局ある程度の協調を保つ、必要に應じて國民的とも名づくべき政府を造り出すことが出來る國々である、之に反して後者は國民は立憲思想に富まず國內に到底融和し得ざる勢力が相當に優勢に群立し手段を問はずして猛烈に相爭ひ、其何れかの一が遂に政權を掌握し、强力を以て凡ての他政派を壓迫するが爲の比較的に中庸なる政府が容易に出現するの余地無きに至つて居る諸國であり露西亞獨乙伊太利は其代表的なものである、前者の立憲主義を執る諸國に於ては國家革新の政策の論議と其實施に關して當局者併に國民の言行に、多面的客觀的理智的妥協的な傾向が相當に認められるに反して後者の專制主義を採る諸國に於ては暴力は暴力を生み革命反革命を招くの危險常に存在し、人心の不安は容易に解消せず、政府及ひ其支持者の言行は一面的主觀的信仰的非妥協的な色彩を强度に帶ひて居ることは大に注意しなければならぬ點であると思ふ

◇……◇

惟ふに現代は世界を通じて國家及社會上改革斷行の秋である、今や所謂資本主義の發展は幾多の弊害を伴ふに到つたから更に社會及國家が一段の發達を爲すが爲には從來の自由放任的資本主義の功過を熟慮し、必要なる修正を加へねばならぬ時期となつた、現代文明國民は須らく十九世紀の貴重なる思想的遺產たる個性の進展と人格の尊重とを輕々に泥土に委するが如きことなく、立憲政の破壞を默認するが如きことなく是等の基礎の上に意義ある國家全体主義を實現し、從來の無統制なる經濟活動を計畫的に調整し國民多數の幸福を增進し得る政治經濟上の新秩序を平和的に齎らさねばならぬのである、是吾々の要望する新憲法の內容であり、又世界の大勢より正當に歸納したる新國策の形態である而して其改革たるや單純に復古にあらず、空想の實現にもあらず、過去の地盤の上により善き未來の建設を企圖するものでなければならぬ（完）

英の對日通牒は日本の注意喚起か
排他的の特權を禁止する九ケ國條約を引用

(ロンドン二十三日發國通)英國外相サイモン氏が下院で發表の外務當局談に對する對日初回の通牒は先づ東京駐在の英大使へ打電され同大使より日本政府に即時通達される、其の要旨は九ケ國條約の支那に於て何國も排他的特權を與へるを禁ずとの條項を引用して日本の注意を喚起するものと仄聞されるが右通牒內容は二十五日公表となる模樣である

我聲明に對し
サイモン外相の說明

(ロンドン二十三日發國通)帝國政府の支那に對する政策を宣明した所謂外務當局談は全世界に亘り一大波紋を捲き起し英國を朝野にも多大の衝動を與へたが、英國下院では二十三日午後の質問時間に際し議員より右當局談に關する質問が出たのに對し外相サイモン氏は英國政府の見解を披瀝し次の如く述べた

日本政府の支那に對する政策聲明なるものに就ては余は日本政府から未だ何等通告にも接して居ない、然し東京駐劄大使リンドレー氏から日本外務省代辯者が日本人新聞記者團になした非公式口頭聲明の謄本全文を接受してゐる、惟ふに日本外務省は日支兩國間に平和並ひに親善關係を阻害する或る種の危險を懸念するあまり乃至は支那に於ける列强の一定行動の結果、支那の保全が危險に瀕するのを危惧し今回の聲明をなしたものと解される、日本政府は以上の危險を阻止することを目的としてゐるのであるから日本政府が假りに如何なる政策を執らうとも日本政府の政策によりかゝる危險が生ずると懸念する必要はあるまい、但し一方今回の聲明の性質並ひに聲明の細目例へば支那に對する財政的援助に反對を表明してゐる點等に就ては日本政府に照會をなし英國政府の立場を宣明する必要があらうと思考す

佛の對滿洲國投資
英下院で問題
傳へられる噂は嘘報とサ外相樂觀を說明

(ロンドン廿三日發國通)二十三日の英國下院に於いて保守黨議員チヨールトン氏はフランスの滿洲國に於ける投資問題に關し政府の注意を喚起し『最近フランスは滿洲國內において二、五〇〇萬磅の註文を取つたとの噂が有るが如何』と質問したるに對しサイモン外相は左の如く答辯した「日本新聞社の報道によればフランスの投資團と滿鐵との間に鐵道材料供給に關する假契約が締結された事實が有るか然し右契約にはお說の如き巨額のものを含んではゐないと考へられる」、次いで保守黨議員ウインタートン氏が『滿洲國不承認の事實が有るため英國諸會社が入札をなす場合同國駐劄英國領事がこれら諸會社に適當の便宜を計る上に何等かの折衝無きや如何』との質問に對しサイモン外相は「何等遺憾の點は無い」と答辯した

日本の聲明に大公報論說を掲ぐ

(天津二十四日發國通)二十四日大公報はワシントン電として、日本外務省の聲明に就いて齋藤大使はスター紙記者に對し「各國が豫め日本に諮ることなく支那と各種事業に對する權利獲得に就いて折衝するが如き事あらば日本は之を非友誼的態度と看做さざるを得ない」と述べたと報じ之に對して左の如き論說を掲げて居る

日本外務省の聲明が明らかに支那外交に對する指導權の承認を各國に要求せるものであり齋藤大使の談話でフランス銀行團の歐洲に於ける中國公債の發行を指して居る事は明白である、日本は各國に滿洲國の正式承認を求むる事の無益なるを知り先づ中國を壓迫して之を承認せしめんとして居る、而して中國が之に從へば兎に角從はざれば中國の現狀を破壞せんとして居る、華北は正にその第一である、吾人は此の危機に對して中國の執るべき決心と政策は左の二點にあると信んずる

一、中國はその法律上の尊嚴名譽を傷け主權を侵犯するが如き提議、要求は如何なるものと云へども斷んじて之を拒絶すべし

一、外に列國に頼ることなく自力更生の政策を執るべし即ち空言にも等しき國際聯盟の投資の如きを頼むことなく又嫉妬を買ふに過ぎぬ無謀なる事業設を中止して先づ全國の治安維持と經濟回復とを圖るべきである勿論此の際同時に日本に對しても何等の援助をも得てはならぬ

要するに此の際支那は孤立に甘んじ國際活動を圖らず、而して日本に對しては何等諒解援助を求むる事なく各國の威嚇にも應じない事が此の複雑危險な局面を緩和し切り拔ける最上の方策であると確信する

滿洲國辭令

任中央觀象台技正(薦任五等) 糸永 幸一
任奉天省公署技正(薦任八等) 黑田 重治
奉天省公署民政廳勤務 久見瀨彌之助
任哈爾賓警察廳警佐(委任二等) 小川義太郎
任哈爾賓警察廳巡官(委任三等)各通 田中 義雄 上垣內正行
任哈爾賓警察廳巡官(委任二等) 川上 藤松
任哈爾濱警察廳警佐 柴田作太郎
(委任二等)各通 飛 甚左門
任哈爾濱警察廳警佐(委任一等) 鶴島 正
任哈爾濱警察廳巡官(委任三等) 黑田 嚴 飯田 忠美
任哈爾濱警察廳譯官(委任三等) 中野進一郎
任國道局屬官(委任二等)國道局總務處勤務 岩田公六郎 勝目 憲民
任國道局屬官(委任二等)齊々哈爾國道建設處勤務 泉谷輝五郎
任國道局屬官(委任三等)同上 新 秀雄
任國道局屬官(委任三等)奉天國道建設處勤務 中島房之祐
任國道局技士(委任二等)新京國道建設處勤務 篠原 勝清 松原淸次郎 城野 正 富永 淳二
任哈爾濱警察廳警佐(委任一等)各通 茂木 彌佐 堀 彥治 鈴木 佐吉 中馬 潤 三宅 重友
任哈爾濱警察廳警佐
(委任二等)各通 小林 淸次 山口 茂 金子 政吉
任哈爾濱警察廳巡官(委任三等)各通 岩間 光男 田中 次郎 岩崎 二郎 白井 金彌
任司法部屬官(委任二等)各通 曾原 榮二
任書記官(委任一等)新京地方檢察廳勤務 安武 六郎
任書記官(委任二等)北滿特別區高等法院勤務 佐々木精一
任書記官(委任一等)北滿特別區高等檢察廳勤務

ソ聯側の遣り口に軍部嚴重監視
陸相ユ駐日大使の諒解を一蹴
待たるゝ北鐵交渉

(東京國通)廿一日林陸相とユレニエフ駐日大使との會見に於てユレニエフ氏は北鐵交渉のソ聯側の意向を提示して陸軍の諒解を求めたが林陸相は北鐵交渉は陸軍としては筋違ひで關知せずと一蹴の棣で陸軍中央部は交渉再開は日ソ關係を持する上に歡迎するがソ聯側の遣り口より見て嚴重なる監視を要すとなしてゐる

日蘭會商の我對策を決定
新法實施は在蘭印我商人全滅
山中淸三郎氏語る

(大阪國通)紡績聯合會、輸出綿絲布同業會、日本綿染サロン輸出同盟會及び大阪商工會議所貿易部會では二十三日綿業會館に聯合協議會を開催し對策を決めたが、散會後山中淸三郎氏は語る

[illegible]政府の輸出業者特許案及び營業制限令が實施されると在蘭印の日本商人は非常な危機に直面し在留六百の小賣商人は全滅の外は無い日蘭會商を成功に導く唯一の方法は現在の片貿易を如何に調整するかで日本の持ち行く土產次第と云ふことになつて居る

日蘭會商代表部今週中に構成

(東京國通)日蘭會商の帝國代表に內定せる長岡大使、越田總領事兩氏の正式任命は本日の閣議で行はれ、その後外務省で隨員を選定し今週中に代表部構成を完了する筈である

中岡良一ハルビンへ

(ハルビン國通)當時の宰相原敬氏を殺害し十三年間獄裡生活を送つた中岡良一(三二)はハルビン北鐵護路軍司令部附伊亮中佐の斡旋により五月廿日東京發老母妹等を伴ひ渡滿ハルビンに落付く事になつたが 目下講演巡廻中の中岡良一が下關より十四日附の手紙によれば、渡滿前滿洲國籍を獲得し日滿兩國のため身命を賭して活動し、延いて日滿提携運動に乘出し度いと確固たる決心を述べてゐる、中岡を斡旋渡滿させる伊中佐とはどんな男か?、彼は間島から廣東へ、廣東から監獄へ(監獄から西比利亞へ、海員生活からまた監獄へ、さうした目まぐるしい闘爭に生きつゝ朝鮮獨立運動の再興者になるため廣東軍官學堂に飛込み或た三民主義革命の大立物と相通じて民族運動に轉じて共產主義運動の闘將となり自ら革命家として任じてゐた矢先き滿洲事變に絡む萬寶山事件其他が朝鮮民族に闘するを悟り爾後半生の闘爭的歷史を清算して、日本、朝鮮、滿洲、支那印度を通じて利民的經濟政策に立つべき五道政治を決意し更生のべを北滿の天地に求め目下滿洲國建設の一リーダーとして活動してゐる風雲兒である、中岡とは一面識もないが何時とはなしに文通を始め今日では兄弟以上に親しい間柄である

關東軍の新給與令實施延期さる
官舍完成を待ち十二月頃實施

(東京國通)陸軍では本年度より關東軍の戰時給與を原則的に打切り完全な平時給與への過渡便法とし戰時給與と平時給與との中間を行く過渡的給與令を實施すべく種々研究中であるが、新給與令を實施の上は在滿將士に家族携行を許す事となるので之に必要な將士の住宅を滿鐵沿線に建設計畫中であるが、上京の岡村參謀副長の報告によると右建設は十一月完成するとの事であるから右給與令實施豫定の四月末を延期し十二月一日か遲くとも新年から實施される模樣である

安國縣警察隊共匪を殲滅

(奉天國通)安國縣警察隊は豫てより縣下共匪部落掃蕩を計畫中であつたが昨二十三日共匪三部落を攻擊し遂にこれを潰滅した、この戰鬪において共匪十名を射殺、三十名を逮捕、家屋百五十戸を燒却し證據品多數を押收、完全に共匪の根據地をくつがへした

ソ聯反革命運動波及

(ハルビン國通)當地に達せる情報に依れば、ソ聯ウスリー鐵道沿線赤軍飛行場のあるスパスコウエを中心とする地方に於ける反ソ露人は昨年末團結し反革命運動を起し、ソ聯全体にその波動伸展しつゝあり、黨監察部では共產黨中央委員會の命により之等分子を發見次第檢擧に努めてゐる

國家社會主義の新黨近く樹立

(東京國通)國家社會主義運動の戰線は日本國家社會主義新黨の結成準備委員會より石川派が脫退して以來分裂狀態のまゝ今日に至つたが日本勞働同盟を主体とする準備會は殘留派は石川派に對して別個に國家社會主義を指導精神とする新黨を結成することとなり、その結黨大會を愈よ來る二十九日擧行されることゝなつたので、これに先立つて二十三日夜結黨準備委員會を開き島中雄三、松谷與二郎の諸氏等二十五名集合し從來の無產政黨並ひに日本主義運動の失敗批判及ひ結成さるべき新黨の主義方針につき種々意見の交換を行ひ、尚新黨名は國家社會黨、勤勞日本黨、勞働國民黨の三つから選定される筈である

江防艦隊下航その活動期待さる

(ハルビン國通)滿洲國皇帝台臨の下に擧行される筈であつた觀艦式は無期延期と決定したので江防艦隊司令部では下流向け巡航の豫定を變更、繰上げて愈々數日中に準備を完了、出動と決定の模樣であるが今年はアムール、ウスリー兩江に於ける商船並に沿岸の警備に當るのみならず更に廣く各江を溯江し艦隊の行動範圍を擴大する筈で、其の活動振りは各方面より大いに期待されてゐる

鄭特使一行廿八日夜歸京
遠藤廳長が出迎えに赴連

訪日修聘特使鄭國務總理大臣一行は來る二十六日大連着大連で二日間滯在のうへ二十八日午後七時三十分歸京することになつた、なほ一行出迎へのため遠藤總務廳長は二十五日午後四時三十分發で赴連の豫定

離日の鄭特使
ステートメントを發表

(福岡國通)鄭國務總理は愈々日本を離れるに臨みて左のステートメントを發表した

訪日修聘特使の責任を果して今日貴國の土を離れんとするに當り實に感慨無量なるものがあります顧れば過日貴國に第一歩を印してより既に一ケ月、貴國皇室よりは畏れ多くも國賓の御待遇を＝賜り＝身にあまる光榮に只管恐懼致しまするとともに日本全國を擧げての熱誠溢るゝが如き御歡待にはたゞ感激に堪えざるものがあります、滿洲國建國以來二年有餘貴國の絶大なる御援助により諸政漸くその緒につき三千萬民衆の福利增進と國力の充實に邁進しつゝあるも將來ともその健全なる發達は友邦日本の協力に待たねばならぬことは今更申すまでもないことであります、この度光輝ある歷史に輝かしき秀麗なる山河に富む貴國を訪問致しまして最も深き感銘を受けましたことは日本全國民我新興滿洲國に無限の親愛と依頼を寄せられた我國の將來に多大なる期待をかけられて居られることでありましてこれらの事は單なる表面的儀禮的の事でなく各々その精神よりの發露としてかくあることを觀取し得たことであります、永遠に變ることなき日滿兩帝國の骨肉的關係は日滿共存共榮の＝大義＝を基礎として益々鞏固を加へことに東洋平和確保の大業が達成せらるべきことの信念を一層確くした次第であります、今や懷しき貴國の土を離れるに臨んで貴國の御發展を祈り奉るとともに日本朝野の御歡待に深く感謝の意を表する次第であります

尚總理は一月に亘る滯日中殊に深き感銘を受けたものは可憐なる男女學生の熱誠なる歡迎であつた、門司出帆に當り一詩をものし日本青少年並びに少女に贈つた

兒女傾城爲送迎
老夫感涕欲縱橫
達材成德眞吾黨
願汝同揚一世名

櫻の日本におさらばを
鄭特使一行歸滿の途につく

(門司國通)日本に於ける最後の一夜を明した鄭總理一行は[illegible]午前八時十一分福岡發門司に向ひ沿道各驛到る處熱誠なる歡迎をうけつゝ十時二十分門司着、福岡から同行した小栗知事、後藤門司市長等の案內で自動車を連ねて風師山々頂を極め春酣なる關門の朝景色を眺め一ケ月に亘る日本訪問の感懷に深く心を打たれ遙か東方宮城を伏し拜んで歡禱を捧げ日本皇室の繁榮を祈り奉る老首相の日本敬慕の發露に隨員一同感涙にむせんだ 十一時下山、埠頭樓上で休憩後零時乘船「うすりゐ丸」のタラップを渡りサロンに於て乾杯、日滿兩國の隆盛及び海路の安全を祈つて杯を擧げ新聞通信記者の包圍を受けフラッシュの雨の中にステートメントを發表、零時十分一行を乘せた「うすりゐ丸」は美しいテープの交叉を斷つて、湧き起る萬歲の聲と日滿國旗の波に送られて一路大連に向ひ卅日に亘る日本滯在におさらばを告げ、懷しの故國滿洲に向つた、尚鄭總理一行は廿六日大連着後豫定を變更大連に二泊、廿八日午後七時三十分新京に歸着する事となつた

讀者の聲

あまりにも高い室代の緩和を圖れ
惱める獨身生

新京の家賃が高いといふことは各方面から叫ばれ、又喧しく論議されてゐるが事實非常に高い、だが我々は發展過度期にある新京であるから或程度の許容もし、あきらめもするしかしながらそれは餘りにも警察當局の標準よりかけ離れて高いのを見、且つしばしば聞くのである、殊に室賃に多いのであるが、水道、風呂の設備がなく、場所的に見て比較的邊鄙な所で、疊一枚につき五圓はする、まあこの程度なら我慢もしやう、しかるにこれより以上の料金をとり、おまけに敷金を四、五ケ月も收めさせるといふ押しの强いのがある、そのよい例に曙町四丁目の某アパートがあるが、こゝでは中傷になるからやめておかう、何れにしてもベラボーに高いのは事實だ、警察當局も一つ此方面にもう少し力を入れて貰ひたいと思ふ、現在では警察の標準は全くの有名無實、あつても何んの用をなさないのだから慨嘆に堪へない 袖一觸一部家主跳梁の緩和を切望して已まない

語偶

久しく停頓狀態に置かれてゐる滿鐵改組問題が從來の事務的折衝から離れて新たなる進展を見ることになり、これがため林陸相は今一應陸軍部內の意嚮を確めて最後の肚を決めてかゝらうといふ▲いづれ近く關係各相との會見が行はれやうが對滿政策の確立は現內閣として、何を措いても先づなされなければならぬ重大問題だ▲それがいつ〳〵までも放任された形にあるのは內閣の熱意が疑はれるこの際不言實行の陸相がどんな態度に出るかは見ものである▲その陸相が岡村少將からいろ〳〵滿洲の事情を聽いたが、內地にゐると實際判つてゐるやうで本當は判つてゐないことを痛感したといつてゐる▲その言や誠に意味深長で改組問題について語るでもなく、語らぬでもなく、陸相今後の政治的手腕が期待される所以…▲陽氣のせいで新京驛は遺失品の山、本月に入つて既に百數十件にも上り、その大半は取りに來ないといふから、全くせち辛くない世の中だ▲春とゝもにこうした浮かれ客が日に增し殖え、到るところ朗かな話題をつくることであらう

待ち兼ねた土建界 漸く活氣づく
附屬地の新築三百戶程度か 增改築が多い見込

いよいよ今年も解氷期に入つて待ち兼ねた土建界の活躍が賑かなハンマーの響きとゝもに日一日と盛んになつて來る去る四月一日から地方事務所土地係に建築許可出願したものは今日まで三十件であるがなほこのほか昨年度出願したまゝ本年度に持越されたものは相當多數に上る見込みで、これらは解氷期とゝもに早急建築に着手した向きが多く既に相當活況を見るに至つたが何分本年は昨年のダイヤ街の如き空地がなく、土地拂底の折柄附屬地內の建築はさまで大したことはあるまいと見られるもそれで新發屯の新貸付地を合すれば前年同樣約三百戶に上る見込であり、本年は特に純新築よりも增改築が大部分を占めることにならうと豫想されてゐる

郵便局も 休日同樣事務 取扱ひ制限

新京郵便局は來る二十七日の靖國神社臨時大祭當日は一般休日同樣に郵便事務は午後三時までゝ（各出張所は正午まで）取扱ひ現金受拂事務は全日休止する由である

暗黑の街、新京 漸次光明の街へ！
ダイヤ街は六月一日から工事

各種建設工事の進展につれて大新京は一日々々國都としての偉容を整へつゝあるものゝ＝都市＝としての一大要素である街路照明においては暗黑の街としてのそしりをまぬがれず市民のつねに遺憾とするところであつたが、はしなくも不夜城建設への喜ぶべき音づれが報じられた、かねて新商店街のダイヤ街町內會代表者によつて請願中であつた町內街燈建設の件がいよいよ許可に決定、滿電との協力によつて六月一日から工事に着手することになつた、その工事內容は從來吉野町あたりに取り付けられたものとはその形にまた氣分に全然趣きを異にしたもので斷然モダンな五燈用鈴蘭燈百六十六基、二燈用鈴蘭燈二十五基を＝建設＝するもので、この建設費總額は四萬（千圓である、この新裝が完成された曉には新商店街はダイヤのその名の如く大不夜城を出現するもので、新京の中心もこのダイヤに集注されるものではなかろうか、なほ大新京夜の新裝については滿電の犧牲的奉仕により着々準備を進められつゝあり、驛前中央通り日本橋通り一部暗黑街の照明裝置は目下許可申請中で遠からず工事を着手する＝運び＝にいたる趣きである、國都の面目を一新される日も近き將來に實現を見るにいたるであろう

東京カトリック教會 田口氏來京

東京カトリック教會中央管理人田口芳五郎氏は過般來京、目下城內カトリック天主堂に滯在中であるが、同氏の來京の目的は最近新京に日本人敎徒が增加した結果布敎其他に種々不便あるため同天主堂より東京敎會宛日本人牧師の派遣方を申請し來つたので右調査のため來滿したものである尙同氏は今後一ケ月滯在し、信徒情況其他につき詳細な調査を遂げる豫定であるが、今の處新京日本人敎徒は約卅余名である

國際博出品 情報處から

國務院情報處では滿洲國の實情紹介のため目下長崎で開催中の國際產業觀光博覽會に御大典の實況、熱河、コロンバイルその他國內各地、新京の國都建設狀況など五十種の引伸ばし寫眞を滿鐵商工課に依賴し同博覽會に出品すべく二十四日發送した

陸大入學 初期試驗 一日高女で

陸軍大學入學初期試驗は新京高等女學校講堂で五月一日から五日間午前八時から午後四時まで行はれる全滿からの受驗者は八十數名である

營口の苦力上陸 減少

山東方面の發航地で嚴重に苦力の滿洲國入りを取締つた結果最近滿洲入りの苦力が減少して來たが、四月九日から十五日までの營口港上陸苦力は次の通りである

▲九日一千八百五名▲十二日二千三百七十四名▲十三日千五百六十九名▲十五日二百三十九名

凱旋兵を送りませう

一、二十六日午後三時二十五分着列車で遺骨二十一体ハルビンから新京着西本願寺でお通夜の後翌二十七日午前九時五分新京驛發內地へ凱旋

一、二十六日午後十時發列車で新京〇〇隊百八十名除隊內地へ凱旋

一、二十七日午前七時着列車でハルビンから傷病兵二十二名新京着、新京衛戍病院入院患者二十三名と共に午前十一時三十分發列車で內地へ凱旋

時局後援會 警備隊員に 記念品

新京時局後援會ではさきに新京警備隊幹部を大和ホテルに招待したが二十四日午後警備隊全員に對して記念品を贈つた、記念品はけんちゆうの風呂敷に滿洲地圖と忠靈塔を織込んだものである

寄附

西廣場小學校父兄會へ新京商業から鞍山中學へ轉任の敎諭池谷六太郎氏から子女在學記念に金十圓寄附

新京高女生の 淚ぐましい忠靈塔獻金
洗濯の駄賃、馬車に乘らずに 集めた金を本社へ

二十四日午後本社を訪れた新京高等女學校敎諭宵木昌氏は同校生徒五百四十五名のまごころをこめた忠靈塔建設への寄附金四十二圓八十五錢を寄託した、紙幣　銀貨　銅貨を取交ぜた、その內譯を聞くと二十五圓九十錢は＝生徒＝一人が五錢づゝを醵出したもの又十六圓九十五錢はその一人當り五錢づゝの醵金の他に各受持の先生が生徒に對しこの忠靈塔が帝國の生命線確保滿洲國建設の大業に護國の鬼になつた幾多忠勇將士の英靈を慰め見つ其功績を永遠に記念し滿洲の護りたらしめんために關東軍司令部內に忠靈顯彰會なるものを設け、新京哈爾賓齊々哈爾、承德の四ケ所に大忠靈塔が建てられんとしつゝあるゆゑんを說き聞かせ、何かの方法をとつてたとへ一塊の石、一握の砂の代でも醵金してはと慫慂したところ生徒は一同申合せて

一、靴を磨いて頂いたお金です

一、お洗濯のおちんです

一、ふとんカバーを縫つてもらつたお金です

一、バスに乘るのを節約しました

一、馬車に乘るのを節約してためたお金です

一、お小づかひを節約したのです

一、お便所の掃除をしていただきました

といふやうな零細の一錢二錢の金を貯金箱に入れ、纏つたものを敎師の手許に提出した小女達の赤心の＝結晶＝であるなほ同校生徒から醵出した函館大火罹災者へ對する義捐金十七圓二十三錢と併せて受託した

招魂祭神賑の 力士を大歡迎
出場有志は名乘出よ

來る二十七日新京神社で執行する招魂祭は北滿事變による戰病歿將兵が靖國神社に合祀される日で最も因緣深い新京では關東軍を初め盛大に祭典を擧行する用意に力を注いでゐるが神賑の角力の如き尙武の氣風を養ふによろしいといふので關東軍、駐滿洲軍部を最先にたいした力瘤の入れやうで市中側からもかくれた力士の出場を望んでゐる個人或は團體でも出場希望者は角力委員長得丸助太郎君（電話二〇五八）へ申込まれたいと、今度の角力は祭典委員で用意した賞品の外に關東軍駐滿海軍部大使館等から多數で寄贈があるさうである、尙神社參道兩側に露店を出したき者は二十六日迄に神社々務所へ申出られ度く種々な便宜が與へられるさうである

自動車と自轉車 側面衝突

二十四日午後二時ごろ日滿タクシー運轉手二宮哲夫（二五）は第六十一號で城內大馬路を流してゐたところ六馬路の交叉點に差掛つた際東六馬路から自轉車に乘つた新京郵政局收發處王中鄕（二三）が突然出て來て前記自動車と側面衝突をし王の自轉車後輛を目茶苦茶に折りまげたが自轉車の修繕は日滿タクシーでもつことになつた

各地の篤志家から 續々と本社へ
總額三千八百九十四圓に達す

忠靈塔建設費へ寄附を本社で取扱ひつゝあるその後の分は金十五圓東二條通鄕軍新京聯合分會副會長岩坂李三郎、金五圓同家安子、金一圓同家四四子、金拾圓吉野町南海吉本いし、金三圓朝鮮咸鏡南道鄕軍高原分會、金五十圓新京北門外結城ハツヱ、金拾圓市內日橋通猪飼政太郎、金拾圓撫順炭坑研究所親睦會、金參圓朝鮮江原道月井鄕軍分會、金二十圓新京商業學校職員一同、金參圓朝鮮咸鏡南道興南鄕軍分長坂本林兵衛、金二圓五十錢同咸南長津鄕軍分會長、金五圓朝鮮江原道蔚珍郡鄕軍分會長、金三十圓新京中央通滿鮮運輸株式會社出張所、金一圓普蘭店會福壽街河本熙　金十三圓滿鐵鷄冠山驛賣店庄野德一外二十名、小計百八十一圓五十錢　累計三千八百五十一圓六十八錢となつた、新京に建設される忠靈塔だけは解氷と共に工事に着手し年內に完成させる筈となつてゐるから此際市民は應分醵金を捧げ速かにその完成を助けるべきであらう

十五學界協會 通俗講演

全滿十五學界協會聯合會主催で二十六日午後七時から約二時間半に亙り新京高等女學校講堂で通俗講演を開く、講師演題は左の通り

▲『滿洲藥學』滿洲醫大敎授山下泰藏氏『國防と電氣』工學博士、岩竹松之助氏『滿洲の農業』實業部農林司長、松島鑑氏

滿洲語初步 生徒募集 實業補習校で

新京實業補習學校では最近滿洲語科初心者の入學希望者が豫想外に多く、ために入學を拒絕してゐたが、今度一般の希望に副ふため來る五月二日から一組（一期丙組）を增すこととし、初步生徒募集を發表した、月水金の三日間每夜三時間宛授業、申付定員に達すれば受付を停止することになつてゐるが、希望者は二十五日まで每日午後一時から四時まで、午後七時から九時までの間に申込まれたいと

『夢禪茶語』「七」
大正寺詰　甲斐布教師稿

柔道四段の豪の者S君が肉迫しました

『宜しい！では『人間馬鹿』の釋明から話さう！』

サアー面白くなつてきました

哲人は『人間馬鹿』と云ふ…而して今『人間馬鹿』釋明に移ると云ふ！正に天下の『聞きもの』です

「早くやれ！哲人！」

茶目ケたつぷりで一同は哲人の釋明を待つています

『釋明に先立ち僕は玆に又一つの面白い偶話を試みやう』『何んでもいい！早くやれ！』

丸で子供が昔話でも聞入る時の氣持です

『一匹の蚊が居りました』笑みを湛へて語りだしました

腹が空いて耐らないこの蚊が『血を求めてこつそり蚊帳の中に忍び込みました、蚊帳の內には誰かが高いひきで眠つています、忍び込んだ蚊は『時こそよけれ』…と早速鋭い血管を突き立てゝ息もつかず吸ひ始めました、飢人が一椀の飯を貪ぼるやうに…腹八分目でよせばいいのに自制のない蚊はとうとう動けなくなる迄吸ひ込んでしまいました、飛ぶにも飛べない我が身體を持てあましている時不幸にも損害を被つた人間樣が眼を醒しました『之の野郎！』大喝一聲！『パチン！』と音がしたと思つたら哀れ！蚊は顏も手も足も打碎かれて此の世の別れ…

『其がどうした!!』Sがドナリました

『諸君は之の蚊をなんと見る！』哲人が一同に問ひつめました

『馬鹿だよ！その蚊は…』Sが吐き出すやうに答へました

「ハハ…ハハ…」滿堂笑ひの渦です仲々に止みません

『然り！之の蚊は馬鹿です！』哲人がすかさず語を次ぎました

『諸君！この馬鹿な蚊と人間！と同一ではないか？…』

『違ふ！蚊と人間と同一にされてたまるか!!』誰かが怒號します

まアー怒るな！『生きたい！』爲めに蚊は血を吸ふたそして吸ひ過ぎた爲めに人に殺された…更に縮めて見ると『生きたい！』ために『殺された』ことになる『虛言のやうで事實だ』人間のやることがそれだ、いやまだ惡い、賽の河原の石積みだ…いや賽の河原の石積みは赤鬼青鬼が壞すと云ふ、人間のやることはそうでない、自ら積んで自ら壞して行くのだから馬鹿の骨頂だ！考へて見給へ！僕達のやつていることを！朝から晩まで晩から朝まで同じ失敗を繰り返している『積んでは壞し壞しては積み…』の日暮しだよ…これが正氣の沙汰と思へるか！馬鹿でなければ狂者だ

哲人が理詰めに人間をこぎ下します之では萬物の靈長も臺なしです

己の馬鹿さ！加減さ！に氣もつかないで『唯我獨尊!!』で御座るのだから馬鹿も念入りの大馬鹿です

一言亦一詞益々以て口が惡い

『降參!!』悲鳴があがります

諸君！『人間馬鹿』の釋明は之れ位にして置かう…』『人間馬鹿』の釋明が終りました一同啞然の態です

南支への旅（八）
新京高女修學旅行團

上海第三日

三月三十一日、未練を持ちながら六時起床身支度をすませて、九時宿前に集合

空は心よく晴れ上つて浮雲一つ殘してゐない、私等は二台のバスに分乘して豫定地へスタートを切つた

上海第一の鐵橋ガーデンブリッヂを通ると、間もなく、パブリック公園だ、未だ若い芽生えの芝生が一面に萌えて滿目皆綠の觀を表してゐる、白雪の廣野を被うてゐる、滿洲の春とは雲泥の差である、若やかな生命が自ら躍動する、木立の奧にある白堊の音樂堂を右に見て、ふみにじられる芝生を惜しみつゝ裏門を出る

銀裝を衒く許りに立ち並べられた幾十幾百の建物と幾百幾千の大小汽船とに挾まれたバンドを過ぎて、道を右に取り南京路に差掛る、こゝは上海の銀座、人と車の洪水の合間々々をかすめては美々しい飾窓を見る、南京路のうらさびれた所に射倖心を唆る競馬場の壯觀がある、赤い帽子を頭にのせた騎手等が四五名、今春の競技を前に猛烈な練習をやつてゐた

やがて自動車は、外人墓地の門前にピタリと止まる、閑寂な廣い境內には所狹きまで黑、白の大理石をもつて刻まれた種々の形の墓石がある墓前には赤、黃、紫等色とりどりの草花が供へられてあつた特に十字架のすつきりした形が目につくキリストの像女神の像等々藝術的に造られてあるのは流石に外人墓地らしい

次はゼスフイールド公園

見た事のない木、柏ヒマラヤ杉、えにしだ、木精等が青青と茂つてゐた綠の芝生の間にしつらへたお花畑には、パンジー、チユリップ水仙等時を得顏に咲き亂れてゐる、うら若い乙女等が、噴水のある池畔のベンチに腰うち掛け詩人らしい態度で、本を繙いてゐる姿が何といふ事なく羨しかつた

小動物園には孔雀、七面鳥等戲れ合つて私達の目を喜ばせて呉れた、こゝを出て自動車は郊外をドライブする

かの繁華な街魔の都上海にもこんな平和な詩的な所があるか知らと疑はれる程だつた藁ぶきの屋根がぽつんぽつんと青い畑の中に浮んで目もさめる菜の花が黃金の波を立てゝゐる

その間を縫ふアスフアルト道路を右に廻り左に折れて東亞同文書院につく、校舍の外觀をざつと拜見して、除家天文台まで足を運ぶ、時間に余裕がなくて、冷やかに天空に聳ゆる大きい建物ばかりを見てお隣の天主敎堂に參拜する

敎堂內の豪壯さは言語に絕してゐる、壁間にはキリストの臨終を語る色々の場面が描かれ、兩側には懺悔室とて小さい部屋か何個となく造られ各々キリストに因んだ裝飾が施されてゐる、會堂の正面にはキリストの像が安置してあり信者の椅子は隙間もなく中央の面を埋めてゐた、數人の支那婦人が聖書を片手に恭しく跪づいて祈禱してゐた、その姿は神聖そのものであつた、私達はただ壓倒されるやうな氣持で襟をひそめ目を見はつた、再び乘車一路自然科學研究所を訪ねる、こゝは外務省の對支文化協會の一事業で團匪賠償金の利子によつて經營されてゐるのだ、案內の研究所員に導かれて、先づ鑛物研究室に入る、部屋一ぱいに、樣々の鑛石が陳列せられてある、珍しい品々は山東省又は朝鮮で採集したものゝときく、次は魚類の部屋、揚子江で採集したものが多く、特に注意を引いたのはなめして將來は靴の皮となるだらうと云ふ大ドヂョウの皮、象の親類らしい象魚、蠅がにげると云ふウナギヘビ等珍妙不可思議のものばかりである（趙粹）

エロ窃盜の女
何が彼女をそうさせたか 將來を誓ひ釋放

エロと忍びの二途でその日その日の生活を送つてゐた福井縣生れ石井のぶ子（二一）は＝既報＝の如く去る二十一日新京署谷本刑事の手に檢擧され係官の前で犯した罪を悔い淚を流して將來を誓ひ二十四日釋放された、何が彼女をそうさせたか彼女の告白はこうである……のぶ子は三歳の時に母に死別し以來父の手で育くまれたが哀れ十三歳にして慈父に死別し孤獨の身となつた、以來親族の者とて可愛がつてくれる者もなく悲しみの日を送つてゐる內隣家の者の世話で女中奉公として働くことになつたが、その內滋賀縣生れの本好透（二五）君と知合ひ青春に燃ゆる若者の戀は日一日と濃くなり彼女が十七歳の春主家からいとまを乞ひ同年十一月二人は夫婦を約しさゝやかな＝一家＝を借受けスイートホームをつくり樂しい日を送つてゐる內女兒を分娩し三人睦く暮してゐたが、昭和七年の春ごろ突如として三人の頭上に恐ろしい不況の大波は襲ひ、三人の樂しい生活を破壞され家をはき賣り長女を夫の鄕里に預け二人は朝鮮に飛ひ、清津に落つきのぶ子は驛前飲食店鶴屋に働くことになつたが、二人の內にはそろそろ別れ話しがもちあがり、同年七月人を介して別れることになつた、それからの彼女は華やかな赤い灯、青い灯の下で酒にひたり墮落の一步へと踏入れ、圖們へ、それから敦化、新站へと渡り行く內昨年二月二十七日吉林省扶餘東樓で酌婦稼に＝身を＝落し、本年二月二十八日來京し市內三笠町四丁目六方飲食店（その後江戶屋と變る）內島川某と知合ひ同人の仲介で藤田某と婚約することになつたが藤田には十九歳の長男の外に二人の妹がゐるため婚約がまとまらず破棄となつたが、各地を轉々と渡り步いた彼女には貯金とてなく寒さをしのぐ衣類とてなく、買ひ求むる力もなく寒さに震へる內自分の恥かしさを氣にやみ遂に惡心を起しエロ仕掛けの窃盜を働くにいたつたものである

農村振興の爲 適切な方策檢討
日滿各機關を網羅して 協和會で座談會

疲弊せる滿洲國農民の現狀に對し政府でもそれぞれ對策を講じつゝあるが、これが對策について檢討するとゝもに更に現狀に照らして最適切なる方策を見出すべく滿洲國協和會中央事務局では來る五月一日午後一時から大和ホテルで農村振興座談會を開催することゝなつた、出席者は

國務院總務廳　實業部、財政部、交通部、中央銀行、關東軍特務部、同第三課、滿鐵地方事務所　鐵道事務所、滿鐵經濟調査會、新京鐵路局勸業公司、商工懇議所、特產組合

その地小林海軍司令官、軍政部多田少將らで日滿各機關の代表を悉く網羅したもので、現下の農村振興について各權威者の忌憚なき意見を聽かうといふので時節から一般から多大の期待をかけられてゐる

西廣場校 二階一教室修理

西廣場小學校では二階一敎室の天井と床に龜裂が入つて使用出來ずそのまゝにしてあつたがいよいよ五百圓の經費で補修工事を施す

池谷中學校教諭 鞍山中學へ

新京商業學校に十余年勤續の敎諭池谷六太郎氏は今回鞍山中學校に轉任を命ぜられ二十四日暇乞ひに來社したが氏は二十五日午前九時發列車で赴任す

四平街 四平街とチ、ハル間 近く電信開通

（四平街支局發）平齊沿線及奧地の經濟的發展に伴ふて通信網の完成は焦眉の急で殊に在住邦商の翹望する處であるが電々會社では來る五月末頃迄に四平街チチハル間直通電信事務開始の運ひをみるに至る筈である從來當地からチチハル迄の送信に當りては數時間の時と奉天、奉天城內の各所を經由して居たものが即時に四平街局からチチハル局に送り得ることとなるので一般は其の實現の一日も早からん事を期待して居る

居住消息

▲室谷秀雄氏（山口縣）日本橋通り二十九番地本田方へ

▲森田松市氏（鹿兒島縣）羽衣町一丁目十二番地の二帆玉方へ

▲山崎千里氏（福岡縣）和泉町一丁目十番地宮本方へ

▲佐藤作士郞氏（山形縣）永樂町二丁目二番地野田方へ

轉居

▲井手美明氏吉野町五丁目十番地から曙町二丁目二十四番地へ

▲野極氏祝町五丁目十四番地から羽衣町二丁目羽衣莊內へ

▲羽衣町三丁目二十ノ一番地四西脇惣吉氏二十三日午後三時二十分死亡

忠靈塔寄附者（三十） 新京日日新聞社扱

金十圓吉野町料亭南海吉本いし、金十五圓東一條通岩坂李三郎、金五圓同安子、金一圓同四四子、金三圓朝鮮咸鏡郷軍高原分會、金五十圓新京北門外結城ハツヱ、金十圓日本橋通猪飼政太郎、金十圓撫順炭坑研究所親睦會、金三圓朝鮮江原道月井鄕軍分會、金二十圓新京商業校職員、金三圓朝鮮咸南興市坂本郷軍分會長、金二圓五十錢同長津鄕分會長、金五圓同江原道蔚珍鄕軍分會長、金三十圓滿鮮運輸新京出張所、金一圓普蘭店會滿壽街河本熙、金十三圓滿鐵鷄冠山驛賣店庄野外二十名金四十二圓八十五錢新京高等女學校生徒一同、小計二百二十四圓三十五錢、累計三千八百九十四圓五十三錢

家屋競賣廣告

一、當社事務所　公主嶺敷島町一丁目參番地　宅地一一五一平方米四三（參四九坪）所在　本家、煉瓦造鐵板露西亞葺平家一棟此面積二四三平方米一二五（七三坪五合）　附屬倉庫、煉瓦造鐵板葺平家一棟此面積三一平方米五（九坪五合）

二、一號社宅　公主嶺楠町二丁目十五番地　宅地一〇九九平方米二二（三三二坪五合）所在　本家、一戶建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積一一四平方米九二二（三四坪八合）　附屬倉庫、木造鐵板張一部煉瓦造平家一棟此面積四三平方米九（一三坪）

三、二號社宅　公主嶺楠町二丁目十六番地　宅地九二二平方米二四（二七九坪四合）所在　本家　四戶建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積二三九平方米二五八（七二坪五合）　附屬物置木造掘立鐵板張二棟此面積二六平方米四（八坪）

右當社所有家屋ヲ左記ニ因リ競賣可致候

一、競賣期日　昭和九年四月二十八日午前十時

一、競賣ノ場所　當社

一、競賣方法　入札

一、開票　即時

一、保證金　入札價額ノ二割以上ヲ入札ト共ニ納入

一、競落代金拂期日　昭和九年四月三十日

一、家屋受渡期日　同日但シ會社事務所及二號社宅四戶建ノ內一戶ハ當社ノ清算事務結了迄（本年六月末ノ豫定）當社ニ對シ賃貸スルモノトス

一、入札價額ニシテ何レモ當社ノ豫定價額ニ達セサル家屋ハ即日再入札ニ付ス

昭和九年四月二十三日

公主嶺敷島町一丁目三番地　公主嶺取引所信託株式會社　清算人

日本の聖女（上海上映）

生田葵 作　南部龍平 畫

九三　女盗賊（三）

「誰かをかけて居るなんて、そんなことはまりまへんえ。私が調へるのも難儀なものどすさかい、自身番の人が來る迄どうぞ待つておくれやす」

湯屋の主人の言葉はいんぎんなものであつた。

「早くから待てないと云つてゐるぢやありませんか、お前さん私に關ひかけないとお云ひなら、私足があるんだから歸つて行きますよ」

小いきな女は、さう云ふと、往來へ出やうとして、表戸に手をかけた。

「どんなにお云ひやしても歸しません」

湯屋の主人は走り寄つて、女の袖を取つた。

「何をするの」

小いきな女は怒り聲を立てたが、それにもかゝはらず湯屋の主人は逃がしてはならないと思つたらしく、女の手を取つてぐいと手許へとひいた。

その力が餘つて小いきな女は上り場へと、どつかと尻餅を突いたが、何うしたはずみか身體が橫倒しになつた。

「何おしなのだい。女に手をかけて、私を盗人扱ひにするの」

小いきな女は、えらい權幕で手にした濡手拭と糠袋を其處へ投げつけて、湯屋の主人に喰つてかゝつた。其處へ表から娘を先に町役人がはいつて來た。

町役人の一人は卅五六の年配で、一人は卅をこえたばかりと見ゆる若い男であつた。

二人共にジロリと小いきな女の方を見て、脱衣場へと通つた。

湯屋の主人は直ぐ盗難の經過の話をした。

二人の役人は金をなくしたといふ娘さんの話を聞いてから、

其處の上りばなに腰をおろしたまゝでゐる小いきな女の方へと先づ年配の役人が聲をかけた。

「御盗難だがかゝりあひぢや、上つて帶をといてもらひたい」

「よろしうござりまするとも」

小いきな女はさういふと、上へとあがり、來た時のやうにいろは番號の衣裳戸だなの前に立つて帶をときはじめた。

男湯の方の浴客二人は湯ぶねからもうあがつて衣しやうを肩に引かけながら、さうした有樣をしきり戸の間から顏をつき出して眺めてゐたし、表にはいつか人立ちで一杯で、しめきつた戸は流石に開けなかつたが、ぶすり〳〵と障子紙を指で突き破つた穴から澤山な眼が内部をのぞきこんでゐた。

女は一ふり二ふりして、それを戸棚の上へと置いた。

次には腰帶をといたが、自然とひろがつた胸のあたりからはふくやかな乳房が見られた。

役人の疑惑をとく爲めだとは云へ、大勢の男の眼が自分へと注視されてゐると感じたらしく、さつき湯へはいる時の勇敢さはなく流石に、恥らうた色が頰にたゞよひ、裸體となるのをためらふやうに見られた。

しかし、役人の眼は、冷やかにじつと彼女の一擧一動をみまもつてゐた。

「お前さん、湯もぢをしてゐるだらう、ぐつと腰を開けてもらひたい」

「だつて、みんながゐるんですもの、はづかしくて出來あしません。」と、女は言つたが、

「勝手なことを言ふな！」

と、役人は言下に激しくいつた。年配の方の町役人はきびしく命令した。

すると女はもう観念したらしく湯もぢを開いて見せた。

家庭醫學

お釋迦樣の教へた姙婦の養生訓

―つはりや脚氣、浮腫を防ぎ丈夫な赤ちゃんを生む心得―

佛教の方では、姙娠してからお產するまでの、二百八十日といふ數字は、心經の文字二百八十字にちなんだものだといつて、「懷姙身持鏡並びに養生」といふ佛書の中でその心得を說いて居ります。

それは初月から十月までの胎兒の形を、觀音樣や文殊、普賢樣など、いろ〳〵の佛樣の像にたとへて、姙婦の心の持方を訓へたものでありますが、それと同じ樣な敎へが支那にもあります。

（胎教）

といふのがそれで、朱子の小學といふ書物に、その主旨が最もよく現はれて居ります。

これらは要するに、姙娠中の母の精神は、そのまゝ胎兒に影響反映するものであるから、立派な子を產むためには、心を正しくせねばならぬといふことを訓へたものでありますが、それにも增して大切なものは食物であります。

（姙婦）

は僅か十ケ月にも足らぬ短い間に、自分の體內で八百匁前後もある胎兒を造りあげねばならないのですが、それは何によつて造られるかといへば、いふまでもなくすべて姙婦自身の攝つた榮養分によるのであります。ですから姙娠中は心の持方にも增して、特に食物――榮養に氣をつけないと、一方には母體自身の健康を害ひ、一方には胎兒の發育を妨げることになります。

たとへばカルシウムは、胎兒の骨格を作る成分として、多量に消費せられますから、母體がこれを含む食物を充分に攝らないと、胎兒は遠慮なく母體の齒や骨から、どし〳〵カルシウムを奪ひます。昔から「一回の姙娠が一枚の齒を奪ふ」などゝいはれるのは、このためで、姙娠中齒を惡くなされた方は、胎兒に充分カルシウムを與へなかつた罪です。

又鐵分は胎兒の血液を組成するのに必要であり、母體から出た後の生活の準備のためにも、胎兒の體內にたくさん貯藏されるものですから、特に氣をつけて攝つて頂かないと、貧血がもとで難產したり、生れた兒が弱かつたりします。

それからヴイタミンBが不足すると、恐ろしい姙娠脚氣や乳兒脚氣になることは、既に御承知の通りですが、最近では之がつはりの原因とせられる姙娠毒素（シンチチオ、リジン）を解毒中和する作用のあることも判明しました。

又つはりには、インシュリンを注射すると效果がありますが、面白いことには三大榮養素を始め、燐、鐵、カルシウム、ヴイタミン類、就中ヴイタミンBの最も豐富な給原として知られる、藥用菌ヘーフエにはこのインシュリンと同樣な物質で、而も內服によつて注射より效果が永く續くグリコキニンが澤山含まれて居ります。

それ故姙娠中、このヘーフエを服用すれば、胎兒の發育に必要な榮養素も充分に補給され、恐ろしいつはりや脚氣も防がれる譯ですが、更に一層好都合なことは、姙婦を惱ます便祕や浮腫を防ぐに有效な活性酵素が、ヘーフエにたくさん含まれてゐることです。

姙婦の便祕は胎兒の壓迫のために、腸の蠕動運動が妨げられて起るもので、つはりを惡化させるのみならず、ひいては心臟や腎臟を害し、命取りの子癇を誘致する場合もありますが、ヘーフエ中の酵素は消化を助け、衰弱してゐる胃腸の細胞に力を與へて、胃や腸の働きを活にし、新陳代謝を促進して自然便通をつけ、利尿を促します。

育兒メモ

牛乳やミルクで育てる赤ちゃんは、とへそれに湯や穀粉等を混ぜて飲ましても、どうも母乳の子供のやうに丈夫に育ちません。そしてよく消化不良や脚氣に罹ります。

その理由は牛乳やミルクや重湯は、母乳の如き完全な榮養がない、つまり乳兒の發育に必要な特殊の榮養素が缺けてゐるからです――かゝる場合に最も進んだ方法は「錠劑わかもと」を碎いて牛乳の中へ入れてやることです。「錠劑わかもと」にはたくさんの榮養素がありますが就中乳兒の發育素――ヴイタミン類、リヂン、チスチン、消化酵素などは最も豐富ですから、之が添加により、榮養價、消化ともによくなり牛乳でも結構丈夫な發育が見られます。

而もこれは化學藥劑と異ひ、連用しても絶對に副作用を伴ひませんから、單に便祕を除くためだけでも、姙婦にとつては大きな福音的藥物だといへませう。このヘーフエから創製された「錠劑わかもと」が、姙婦の保護藥として、また胎兒や乳兒の發育藥として、歡迎されるのも決して偶然ではありません。

產後の衰弱と乳不足は―かうして恢復します―

お產は最も多くの精力を消費する勞働である――といつた學者がありますが、全くその通りで、お產をすると、體重は大凡十分の一減少します。卽ちお產をする前に十五貫あつた婦人ならば、お產をすると一貫五百匁を失つて、十三貫五百匁になる譯です。

そしてお產による出血量は、健康な安產の場合でも一合四五勺ですが、概して二合位までは普通であります。此失つた二合の血と、一貫五百匁の肉を、早く取り戾して、產後の衰弱を恢復するには、平素よりも一層多く、榮養をとり入れなければならないことは申すまでもないことであります。

榮養といつても

產後は胃腸も衰弱してゐますので、當分は野菜や肉のスープ、お粥、菠薐草のおしたし等の消化のよい食餌から始めて、だん〳〵榮養に富んだ普通食に移るのが妥當であります。

產後の衰弱があまり甚だしく、恢復が捗々しくなかつたりすると、お乳の出も惡くなり、赤ちゃんも弱くなり發育が遲れますが、この乳不足には榮養の不良から來る場合と、乳腺の働きが惡いためとの二つの原因が考へられます。

前者の場合には、鯉コクやうどん、餅などを食べると、食べた當座だけはお乳の出が增すことがあります、けれども、榮養のいゝお乳を、いつもタップリ赤ちゃんに飲ませながら、一方產婦の衰弱を早く恢復するには、努めて廣い範圍に食餌をとつて、全身の榮養をよくすることが肝要です。

榮養をよくするためには、煩はしい思ひをしながら三度々々の食餌を選擇して作らなくとも、たゞ平素の食餌の儘で、日に三度「錠劑わかもと」を服んでゐますと、廣い範圍に食餌してゐると同樣に全身の榮養が非常によくなり、衰弱の恢復も早く、榮養のよいお乳が澤山出る樣になります。

それはこの藥の主成分――ヘーフエには鯉コクやうどん、其他肉卵、野菜、海藻等に含まれてゐる榮養は無論のこと、ヴイタミン劑やアミノ酸劑等に含まれてゐる榮養分は大抵含まれてゐるからです。

その上、ヘーフエには麻痺狀態になつた乳腺の細胞や、胃腸の細胞に働きかけて、その活動を呼びさまし、乳の分泌を促し、食物からの榮養分の吸收をよくする特有の酵素作用もありますから、之を愛用する產婦は衰弱の恢復も早く

お乳もタップリ

出、產後に罹り易い脚氣も知らずに過ごせます。その結果が赤ちゃんの發育をよくするのは當然であります。

右の「錠劑わかもと」は發見者帝大名譽教授、澤村眞博士の篤志により、二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ奉仕的廉價で東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一一〇〇番）から頒布され尙全國の藥店にもあります。

惡阻知らずに安產

（兵庫）桐野歌代

妾は元來健康な方ですが、姙娠すると惡阻がひどく、八ケ月間程は病人以上の苦しみを致します。

最初の姙娠の時も、これがため流產のやむなきに至りその後二人の男子を產みましたが、その時も大變苦しみました。三度目の長女のお腹にゐる時は又大變惡阻が重く、婦人科の先生に注射や藥やと、色々致して貰ひましたが、どうもおさまりません。まるで食物が少しも受付けず、身體は瘦せる一方、この苦しみは皆樣覺えのある方でなければわからないことです。

こんな具合で產れた子供は矢張り弱く、生れて一年程、それも患ひ通して亡くなりました。丁度その時には私の身體が又惡くなつてゐたので、婦人科の先生に診て頂きましたら「まだはつきりわからないが、姙娠なさつてるらしいです」との事、又惡阻に惱まされました。

婦人科で一緒になつた奧さんと色々お話をしてゐると、その奧さんに「惡阻でお苦しみなら私方によい藥があるから、一度試してごらん、よく效きますから」と、お歸りになるとすぐ書生さんに持たして下さいました（中略）「錠劑わかもと」

こんなお藥があれば、もつと早くから服めば、あんな苦しみもせずに濟んだものを、とそれから每日缺かさず服みました。お蔭で惡阻などは忘れてしまひ、易々と二女を產むことが出來ました。